

桑名市立小中学校再編計画(案)

【参考資料】

令和8年 月
桑名市

目 次

1 前提条件の整理.....	1
1.1 前提条件に関する情報収集.....	1
1.2 基礎情報の整理.....	19
2 各学校施設の現状と課題	22
2.1 各校・建物の現況整理	22
2.2 各地区の通学路及び危険個所の整理	28
3 地区別の人口動向と児童・生徒数及び学級数推計	34
3.1 市内地域別の人口動向の整理.....	34
3.2 各学校における各種課題発生想定時期の整理.....	35
4 小中一貫校整備地の選定	66
4.1 新しい場所での小中一貫校整備地の検討	66
4.2 既存中学校地での小中一貫校整備の検討.....	87
5 新学区割案の検討	91
5.1 新学区割案の検討フロー.....	91
5.2 想定される再編パターンの抽出(第1段階).....	92
5.3 想定される再編パターンの抽出(第2段階).....	94
5.4 抽出された再編パターンの評価	116
5.5 再編パターンの評価結果.....	124
5.6 パターン⑩に関する個別検討	144
6 施設一体型小中一貫校の整備	146
6.1 施設整備手法	146
7 保護者等住民説明会の開催	151
7.1 小中学校再編計画説明会の開催.....	151
7.2 自由意見の総括.....	151

I 前提条件の整理

1.1 前提条件に関する情報収集

1.1.1 上位関連計画の整理

本市の学校再編検討にあたり、踏まえるべき主な計画を以下に示します。

表 1-1 踏まえるべき主な計画

	計画等名称	策定期間（最新改訂）
1	前桑名市総合計画後期基本計画	令和2年3月
2	桑名市公共施設等総合管理計画	令和4年3月
3	桑名市都市計画マスタープラン	令和6年3月
4	桑名市学校施設適正管理計画	令和3年3月

1.1.2 学校教育に係る各種関連条例の整理

本市の学校教育に係る関係法令を以下に示します。

表 1-2 学校整備に係る関連法令

例規名称	制定年月日	種別番号
桑名市立学校条例	平成16年12月6日	条例第171号
桑名市子どもの権利条例	令和6年12月5日	条例第39号
桑名市立小中学校の管理運営に関する規則	平成24年2月28日	教育委員会規則第4号
桑名市立小学校及び中学校の就学に関する規則	平成16年12月6日	教育委員会規則第10号
桑名市立学校施設目的外使用規則	平成16年12月6日	教育委員会規則第11号
桑名市立学校施設の開放に関する規則	平成16年12月6日	教育委員会規則第12号
桑名市立学校の学校運営協議会の設置及び運営に関する規則	平成29年12月27日	教育委員会規則第11号
桑名市立学校の学校運営協議会取扱要綱	平成29年12月27日	教育委員会告示第19号
桑名市通園自動車運行管理に関する規程	平成16年12月6日	教育委員会訓令第8号
桑名市学校給食センター条例	平成16年12月6日	条例第176号
桑名市学校給食センター条例施行規則	平成16年12月6日	教育委員会規則第18号
桑名市小学校給食業務委託検討委員会要綱	平成24年6月6日	教育委員会告示第10号
桑名市学校給食運営協議会要綱	平成27年6月4日	教育委員会告示第19号
桑名市部活動在り方検討委員会要綱	令和5年6月26日	教育委員会告示第7号

I.1.3 学校教育及び公共施設に関する方針の整理

桑名市の学校教育及び公共施設に関する方針を上位関連計画より整理します。

表 1-3 上位関連計画（教育関連）

	計画等名称	策定時期（最新改訂）
1	桑名市教育大綱	令和2年3月
2	くわなっ子教育ビジョン	令和2年3月
3	桑名市小中一貫教育基本方針	平成30年4月
4	望ましい学校教育のあり方について 答申	平成29年4月
5	多度地区小中一貫校整備事業 基本構想・基本計画	令和3年2月

I) 桑名市教育大綱

(I) 基本方針

基本理念の実現に向けて子どもたちが夢を持つことができる環境を創っていく取組姿勢として3つの視点に立ち8つの「基本方針」を示します。

《視点1》未来を切り拓く「生きる力」の育成を図ります。

基本方針1 確かな学力の定着と向上

- 小・中学校の教職員が気持ちを一つにして主体的・対話的で深い学びの実現に向けて授業改善をし生涯にわたって学び続ける基盤を培います。
- 一人ひとりの教育的ニーズに応じた学びができるよう特別支援教育と外国人児童生徒教育を推進します。
- 生活や遊びを通しての主体的な活動や体験、他者との関わりを充実させ、学校教育への接続を見据えた就学前教育を推進します。
- 国際社会に生きる日本人として必要な資質や能力を育成するとともに小・中学校9年間を通した英語力の向上に努めます。
- 情報活用能力を身に付け子どもたちが情報技術を学びに有効活用できる ICT 教育を推進します。

基本方針2 豊かな心の育成

- 特別の教科「道徳」を要として子どもたちの内面に根ざした道徳性の育成を図り家庭や地域と連携・協力した道徳教育を推進します。
- 人権教育をすべての教育の基盤と捉え自他の人権を守るために行動できる力を育みます。
- いじめの根絶に向けて取組を進めます。
- 不登校児童生徒の実情に応じたきめ細かな指導・支援を進めます。

基本方針3 健やかな体の育成

- 健康の増進と体力の向上を図るとともに生涯にわたって健康で充実した生活を送るための基礎を培います。
- 継続的な食育指導により食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身に付ける取組を進めます。

《視点2》子どもたちが生き生きと生活できるよう支援します。

基本方針4 チームでの指導力向上

- 「チーム学校」の視点で、学校の組織力を向上させていく取組を進めます。
- すべての教員の指導力及び組織力の向上を図るための効率的かつ効果的な校内外の教員研修を充実させます。

基本方針5 教育環境の整備

- 一人ひとりが生き生きと安心して学ぶことのできる教育相談体制の充実を図ります。
- 時代の変化やニーズに対応した教育環境を整備し、防災に関わる教育を進めます。

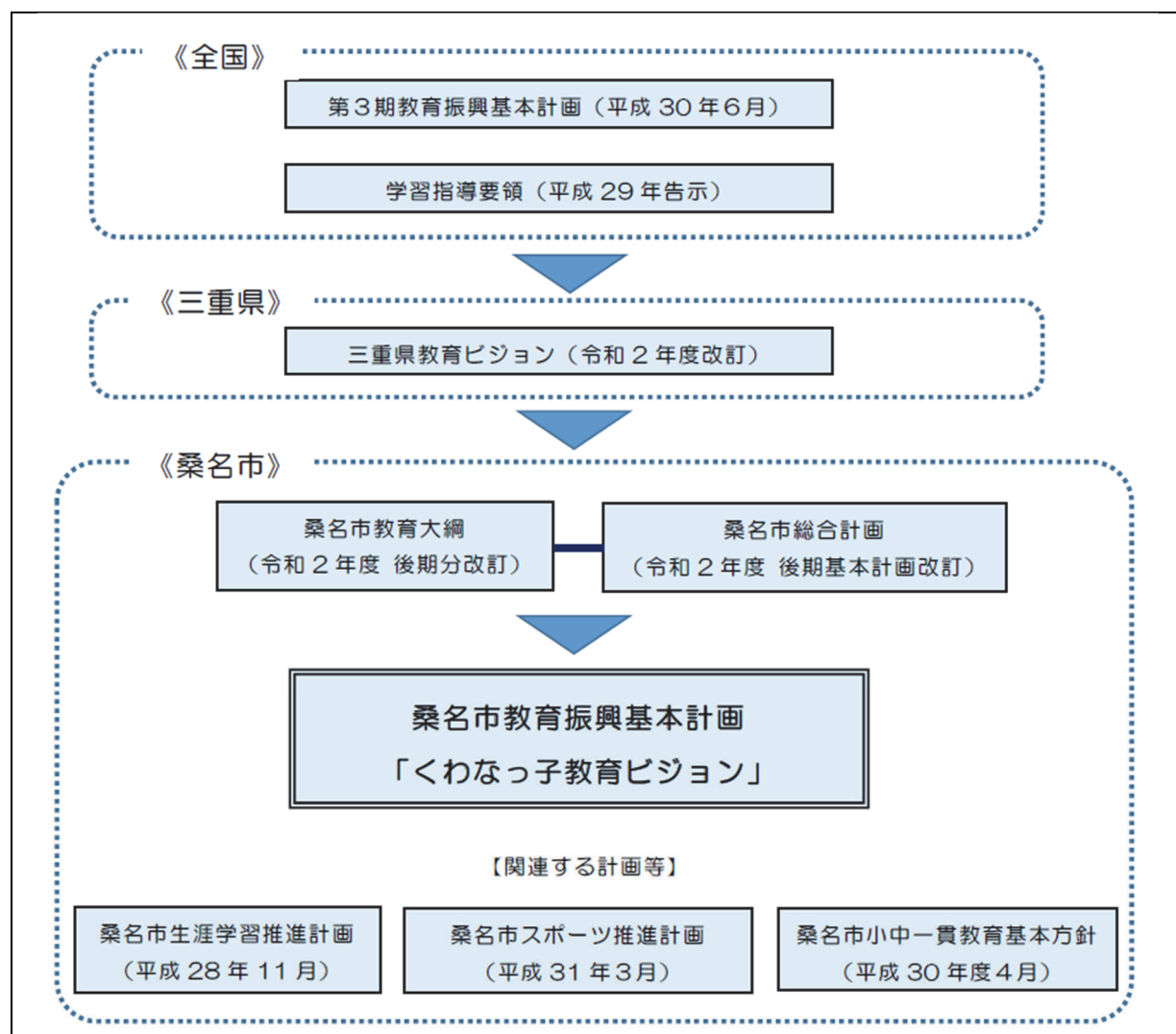
《視点3》郷土に誇りを持ち生涯にわたり学び続ける環境をつくりまします。	
基本方針6	地域とともにある学校づくり
○どのような子どもを育てていくのかという目標やビジョンを学校と地域住民等が共有し地域と一体となって子どもを育てる取組を進めます。	
○身近な地域の人々や出来事との関わりを通じて子どもたちに地域への愛着や誇りを育みます。	
基本方針7	文化・スポーツの振興
○子どもから大人まで、誰もが優れた文化や芸術に触れたり自己啓発したりする機会を提供します。	
○桑名市スポーツ推進計画に基づき、子どもから高齢者まで多くの市民が、生涯にわたりスポーツに関心を持ち、心身の健康を保つとともに、地域のスポーツ活動を推進します。	
基本方針8	生涯学習の推進
○あらゆる世代の市民がいつでも学び交流できる環境を整えます。	
○学びで得た知識などを地域に還元する生涯学習によるまちづくりを推進します。	

2) くわなっ子教育ビジョン

(1) 8つの基本方針と具体的施策

《視点1》未来を切り拓く「生きる力」の育成を図ります。	
I 確かな学力の定着と向上	1 主体的・対話的で深い学びの実現 2 特別支援教育の推進 3 外国人児童生徒教育の推進 4 就学前教育の推進 5 外国語教育の推進 6 ICT教育の推進
II 豊かな心の育成	1 道徳教育の推進 2 人権教育の充実 3 いじめをなくす取組の推進 4 不登校児童生徒への支援
III 健やかな体の育成	1 体力を向上させる取組の推進 2 食育の推進
《視点2》子どもたちが生き生きと生活できるよう支援します。	
IV チームでの指導力向上	1 学校組織力の向上 2 教員研修の充実
V 教育環境の整備	1 教育相談体制の充実 2 小規模校対策・安全対策
《視点3》郷土に誇りを持ち、生涯にわたり学び続ける環境を作ります。	
VI 地域とともにある学校づくり	1 コミュニティ・スクールの充実 2 桑名を大切に育む子の育成
VII 文化・スポーツの振興	1 文化芸術にふれる機会の提供 2 桑名ブランドの発信 3 桑名市スポーツ振興計画に基づく取組の推進
VIII 生涯学習の推進	1 いつでも学び交流できる環境の整備 2 生涯学習によるまちづくりの推進

(2) 「くわなっ子教育ビジョン」の位置付け



(3) 【基本方針Ⅴ】 教育環境の整備

●小規模校対策・安全対策

◆現状と課題

≪学校の小規模校化≫

- 本市の児童生徒数は、第2次ベビーブームのピーク時に比べて30%以上減少しており、今後も緩やかな減少が見込まれます。
- 文科省が定める学校標準規模は小・中学校ともに12～18学級です。これに市内の学校をあてはめると小・中学校とも半数以上が学校標準規模を下回っており、学校の小規模化が進んでいます。
- 多度中学校区では5校中4校が学校標準規模を下回っており、複式学級も生じています。そのため、小中一貫教育の円滑な推進を図ることができ、小規模化への対応等が可能となる施設一体型の小中一貫校の設置を推進しています。

≪学校における安全対策≫

- 長寿命化の目安とされる築45年以上を経過している市内の学校施設は、令和2年4月時点で半数以上が該当します。
- 学校施設の老朽化に伴い、校舎や体育館の雨漏りやプール設備の改修等の修繕は年々増加しており、施設の計画的な大規模改修と、それに伴う設備の更新も必要となってきています。
- 近い将来、南海トラフを震源とする地震が起こると予測されることから、学校施設の非構造部材の耐震化を進める必要があります。
- 子どもたちが被災時に自ら考え、行動する力の育成が求められています。

◆めざす姿

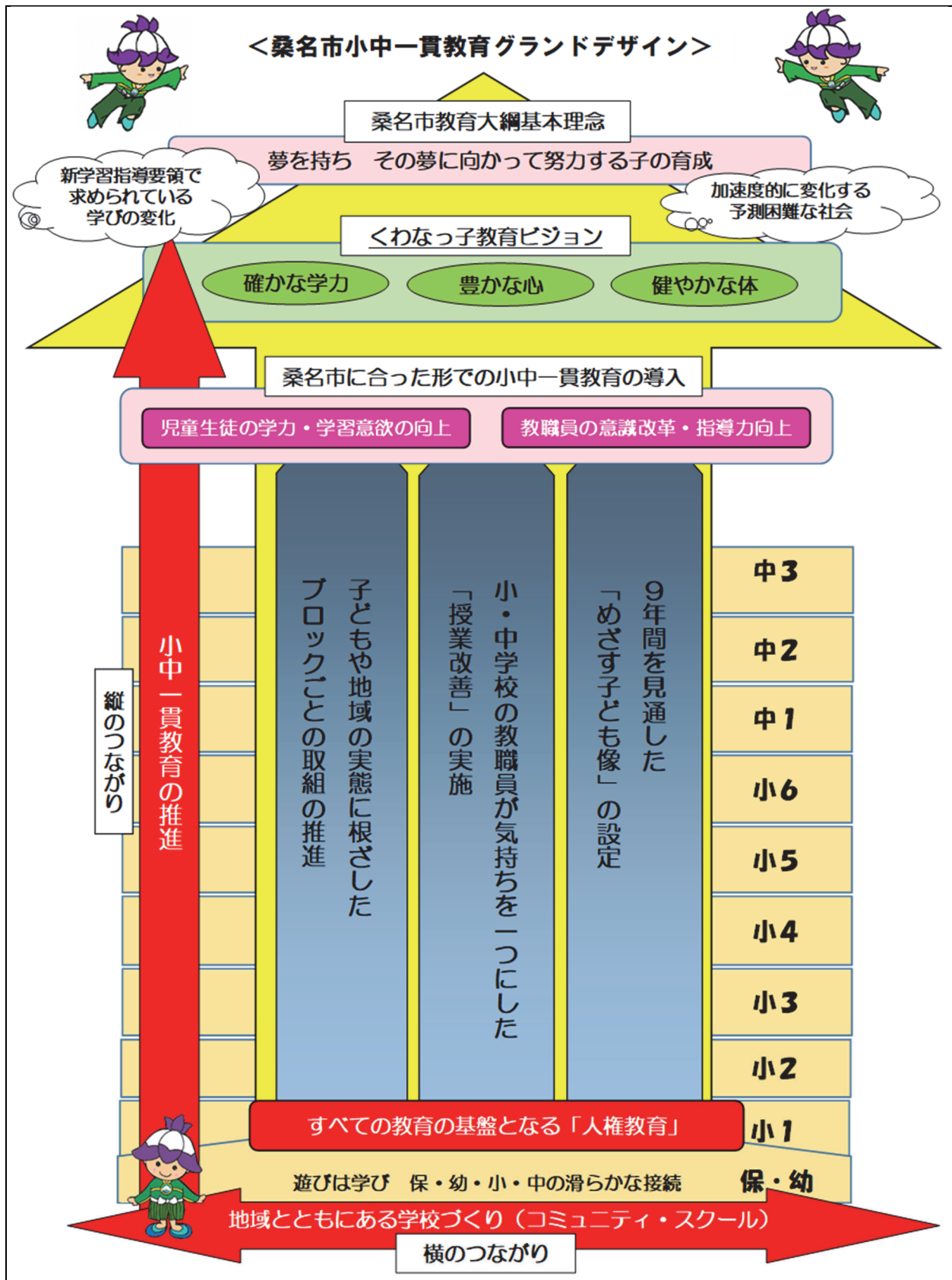
≪小規模校対策≫

学校規模の標準化に向けた取組を推進し、地域や保護者理解が進んでいます。

≪安全対策≫

学校の大規模改修や耐震化等により、施設設備の充実が図られるとともに、子どもたちが被災状況に応じ、自ら判断し、行動できる力を身に付けています。

(4) 桑名市小中一貫教育グランドデザイン



(5) 桑名市のめざす小中一貫教育

3 桑名市の小中一貫教育で何をめざすの？

桑名市小中一貫教育の目的

子どもたち一人ひとりに社会を生き抜くための確かな力を育成するため、中学校ブロックの教職員が協働し、指導の系統性や連続性を大切にした教育を進める。

9年間かけてじっくり育てます「くわなの力」

- く・・・くりかえしチャレンジするやる気
わ・・・わかるまでじっくり考える根気
な・・・なかまとともにつながる力

期待する効果

- 1 「学び」と「育ち」の連続を考えて、本市教育の質を高める。
【期待する効果①】「学力」の向上
【期待する効果②】安心できる「学校生活」
【期待する効果③】「豊かな人間性や社会性」の育成
- 2 中学校へ進学する小学生の不安を和らげる。



4 桑名市の小中一貫教育の取組は？

(1) 9年間を見通した「めざす子ども像」を設定します



○各中学校ブロックの小・中学校の教職員が、義務教育を終える15歳の子どもが身に付けておくべき力は何かを考えて、めざす子どもの姿をイメージし、共有する。

(2) 小・中学校の教職員が気持ちを1つにして「授業改善」をします

○教員が 子どもたちに教える授業 < 子どもたちが 自ら考えたい、話したいと思う授業

《新しい学びを獲得する授業スタイルは》

教員と子どもの対話を主とした学び	<	子ども同士の対話を主とした学び
------------------	---	-----------------

「分からない」と言える授業
見通しを持って粘り強く取り組む授業
仲間とともに学び合い高め合う授業
最後に自らの学びを振り返る授業

○教員は、授業中に子どもの学習状況を把握し、個に応じた適切な支援をする。
子どもの学びと育ちを次の学年へ、小学校から中学校へ引き継ぎ、つないでいく。

(3) 子どもや地域の実態に根ざしたブロックごとの取組を進めます



○これまでの小中連携を生かすなど、各中学校ブロックの取組を積み上げていく。

○学年段階の区切りは「6－3制」を維持し、学習内容を先取りして学ぶことはしません。



○中学校の入学式や卒業式は、これまで通り行います。

(6) 桑名市がめざす小中一貫教育の基本的な考え方

●小中一貫教育を導入する目的

子どもたち一人ひとりに社会を生き抜くための確かな力を育成するため、中学校ブロックの教職員が協働し、指導の系統性や連続性を大切にした教育を進める。

(7) 小中一貫教育の取組拡充に向けて

●地域とともに連携・協働する小中一貫教育の推進

めざす子ども像や取組内容等を保護者・地域に発信して共有し、連携を強化していくことが、取組のさらなる充実につながります。

桑名市では、地方教育行政法の一部改正によりコミュニティ・スクール（学校運営協議会の設置）が努力義務化されたことを受け、学校評議員会から発展する形で、今後3年間をめどとし、各小中学校に学校運営協議会の設置を進めていきます。学校運営協議会での熟議による学校支援活動の充実が、児童生徒の「学び」と「育ち」につながることを期待しています。例えば、地域から学ぶ自然体験や社会体験、ボランティア活動等の取組は、自分が地域の一員であるという自覚と、自己の進路や生き方を考えるきっかけにすることができ、桑名市のめざす小中一貫教育での取組の1つとなると考えます。

●教職員の負担軽減

小中一貫教育を推進していくにあたっては、小・中学校で協働する際の打ち合わせや会議の時間の確保が課題です。乗り入れ授業等をする際には、移動時間の確保とともに、後補充にあたる教員の確保が必要です。また、地域との窓口は、主に教頭が担っていますが、コミュニティ・スクール導入（学校運営協議会の設置）に伴って、さらなる地域連携を推進していくにあたり、地域と学校をつなぐコーディネーターの役割を果たす人員の確保も必要です。

そこで、教職員にとって過度な負担とならないように人的加配を行っていく必要があります。三重県教育委員会への要望とともに、桑名市としても手立てを講じる等、教職員の負担軽減に向けて努めます。

3) 望ましい学校教育のあり方について 答申

(1) 桑名市の教育課題

桑名市教育委員会が示す教育課題は以下の通りです。

①学力・学習意欲の向上

子どもたちが自ら夢を持ち、その夢に向かって努力することが重要であり、一人ひとりの学力・学習意欲の向上をさらに図っていくことが必要であるとしています。

②小学校から中学校への滑らかな接続

中学校に進学すると教科担任制になることや部活動が始まる等、子どもの生活が大きく変化することが問題行動等の増加の原因の一つと考えられており、小学校から中学校への滑らかな接続を行うことが必要であるとしています。

③小規模校への対策

現在、桑名市立小学校 27 校のうち 11 校が各学年 1 学級の単学級の学校であり、そのうちの 1 校は全学年で 5 学級以下の複式学級のある学校です。学校における教育活動のみならず、その他の集団活動を行う上で課題が生じる恐れがあり、これら小規模校への対応が必要であるとしています。

④老朽化の進む学校施設への対応

昭和 36 年以降、学校校舎は建て替えや増改築を経て、現在に至っています。小中学校の約半数が築 40 年以上であり、中には築 50 年以上になる学校もあります。修繕はしているものの、雨漏りや教室・廊下の壁のひび割れなど、非構造部材(壁や天井等)の耐震化や老朽化への対応が急務であるとしています。

⑤教員の意識改革と指導力向上

子どもたち一人ひとりを大切にした教育を進めるため、小中学校の教職員の協力体制がより強固なものになるよう、教員一人ひとりの意識改革と指導力や授業力のさらなる向上が求められています。

(2) 桑名市における小中一貫教育

①小中一貫教育の必要性

桑名市では平成 19 年度から「義務教育 9 年間の学びの連続性の保障や地域の子どもに共通する課題の解決」を目的に、各小中学校が小中連携に取り組み、多くの成果を残しています。しかし、課題も残されており、その解決に向け、さらなる深化が求められています。

今後、桑名市において小中一貫教育が推進されることにより、地域社会とともに目指す子ども像が共有され、9 年間を通じた教育課程を編成することができるようになります。このことによって各学校の教職員と地域社会が共に手を取り合い、地域の子どもたちのより良い成長を考えるようになります。その結果、子どもたちに自立（生きる喜びを感じながら、夢を実現させていく力等）・共生（社会生活を送る上で、他者と支え合う力等）の育成を行うことができます。すなわち、小中一貫教育を通して子どもたちのより良い成長と地域の協働参画につなげることができます。

また、このように小中一貫教育を推進し、施設一体型小中一貫校を設置する場合、小規模校への対応や施設効率化を図ることができると考えます。

そこで、これまで培ってきた小中連携をベースにした、桑名市に合った形で全市的に小中一貫教育に取り組むべきであると考えます。

②小中一貫教育で望まれる取組

桑名市における小中一貫教育では、「9年間の目指す子ども像の設定」や「9年間を見通したカリキュラムの作成」を基本としながら、桑名市の教育課題の「学力・学習意欲の向上」や「小学校から中学校への滑らかな接続」を図るため、児童生徒の実態に合わせて様々な取組を行い、桑名市においてどのような取組を実施することが最大限の成果や効果を生むかについて検証する必要があると考えます。

- 小学校高学年からの教科担任制
- 家庭学習の習慣化（家庭学習のルールと方法の明確化）
- 異学年交流（教科、その他の教育活動）
- なかまづくり
- 児童会・生徒会の設置及び充実
- 地域学校協働本部や学校運営協議会の設置

③小中一貫教育を導入する上で望まれる施設形態

小中一貫教育を行う際の施設形態としては、異学年交流等の実施や教職員の学校間の移動距離や打ち合わせ時間の確保等、推進面での課題解決が図られる施設一体型が望ましいと考えます。そこで、将来的には各中学校区に施設一体型小中一貫校を設置し、小中一貫教育を進めていくことが望まれます。このことは、小中一貫教育を円滑に推進するとともに、桑名市の抱える教育課題の解消にもつながります。

桑名市の児童生徒数の推移について、小学校の児童数は昭和44年度9,277名、平成28年度7,822名であり、中学校の生徒数は昭和44年度4,160名、平成28年度4,003名となっています¹。昭和44年度から平成28年度にかけて、児童生徒数は減少しているにもかかわらず、小学校は6校・中学校は3校増加しています。小中学校数を桑名市と類似団体²で比較すると、中学校はほぼ同数程度ですが、小学校は多い傾向がみられます。

また、先述のように、桑名市立小学校27校のうち11校が各学年1学級の単学級の学校であり、そのうちの1校は全学年で5学級以下の複式学級のある学校という状況にあり、地域による児童生徒数の偏りも生じています。【表1】

中学校区を基本とした学校再編が行われることは、各学年の人数が増え複数学級になることで、子どもたちに多様な考え方に触れる機会を増やすことにもつながることから「小規模校への対応」となると考えます。

1. 児童生徒数は、昭和44年度は5月1日時点、平成28年度は4月1日時点（悠分校は除く）
2. 全国の市区町村を「指定都市」「都市」「町村」等に分類した上で、さらに人口規模や産業構造で細分化された中で、同じグループに属する自治体

【表1】

	小学校（27校）	中学校（9校）
11学級以下	14校	3校
12～18学級	12校	5校
19学級以上	1校	1校

※平成28年4月1日時点の通常学級数

さらに、子どもたちが学校生活を送る上で適切な施設管理を行っていくことは重要であります。しかしながら、全小中学校で耐震診断及び耐震補強等を行ってはいないもの

の、学校が設置されてから築年数が50年以上経ち、老朽化の進む学校施設が複数校ある状況であり、子どもたちにより良い教育環境が提供できにくい現状があります。【表2】

施設一体型小中一貫校を設置することは、老朽化が進む学校施設への対応となり、全ての中学校区において順次整備が行われる場合には、市の財政状況を鑑みながら既存施設の長寿命化計画を策定し、効率的な予算配分を行う必要性があります。

【表2】

	小学校（27校）	中学校（9校）
50年以上	3校	2校
40年以上50年未満	11校	3校

※教室棟・管理棟のみ

④モデル校の設置と学年の区切り

将来的に各中学校区に施設一体型の小中一貫教育を拡げていくためには、その効果や課題を検証するため、モデル校を設置することが望まれます。

また、施設一体型小中一貫校の整備は各中学校区で順次行われることが想定されるため、全中学校区で整備がされるまでは、施設一体型と施設分離型等で小中一貫教育を推進していくことになります。そこで、学習指導要領に準拠した、従来の「6・3」制の大きな枠組みを維持していくことが望ましいと考えます。

ただし、モデル校では、学習指導要領に準拠した上で施設一体型の利点を活かし、児童生徒の様々な成長の段差へ適切に対応するために、従来の「6・3」制の大きな枠組みを維持しつつも、「4・3・2」や「5・4」等の学年の区切りの検討も求められます。区切りごとに重点を定めることは、指導体制を整え、中学校段階への滑らかな接続や教育活動の充実に向けた取組の検証を行うことが可能になると考えます。

⑤今後の学校施設のあり方

今後、設置される施設一体型小中一貫校は、学校を軸として複合化され、多目的な利用ができる新たな学校施設になることが望ましいと考えます。

現在、市内公立幼稚園は小学校に併設されています。これまで、その利点を活かし幼稚園と小学校が連携をしながら教育を進めてきた経緯があります。そこで、施設一体型小中一貫校を設置する際には、各中学校区の実態に合わせて公立幼稚園施設も取り込むことが有効な施策の一つであると考えます。

また、より充実した特別支援教育を推進するため、各中学校区に通級指導教室等を設置することで、児童生徒一人ひとりのニーズに合った教育が提供できると考えます。

学校施設の図書館やタイムシェア等ができる共同スペース等は、児童生徒の学習の場だけでなく、市民の方々も利用できる場とすることで、開かれた学校づくりや、学校が地域コミュニティの核となり多世代の交流を図ることにもつながります。すでに一部の小学校には、公立幼稚園だけでなく、放課後児童クラブ（学童保育施設）や宅老所等、様々な施設が設置されています。

今後、施設一体型小中一貫校を設置する際には、桑名市が取り組む公共施設マネジメントの方針と整合を図りながら、閉校する学校については、防災機能等、学校の利活用に関して地域住民等とも十分検討していく必要があると考えます。

(3) 設置に向けた配慮事項

各中学校区に施設一体型小中一貫校を設置する際の基準例及び配慮すべき事項をアンケート結果等も踏まえ、以下の通り提示します。
<p>○1 学年2 学級～3 学級が望ましい。(700～1,000 人程度)</p> <p>○児童生徒数の減少、複式学級等の小規模化が進む中学校区、施設の老朽化が進む中学校区、分散進学の高割合の中学校区等を考慮する。</p> <p>○通学距離は小学生4 km、中学生6 kmの基準（公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引）を基に徒歩通学を推奨し、自転車通学は、現中学校の基準を参考にする。ただし、設置場所によっては、坂道など高低差が大きい地域があることから、徒歩通学に関しては地域の実情に合わせて考える必要がある。また、国の示す基準を越える際には、スクールバスの導入・適正運用など、適切な手立てを考える必要がある。</p> <p>○校舎・運動場・屋内運動場等については、小中学校それぞれ授業や学校行事、部活動等の教育活動、学校開放での諸活動を具体的に想定し、運動場のより良い整備を行う等、教育上・安全上支障が生じないよう、必要面積を確保することが不可欠である。同時に、理科室や家庭科室等の特別教室についても小中学校それぞれの授業に支障をきたさないよう必要数を確保することも不可欠である。</p> <p>○これまでも通学路の交通安全の確保については、保護者・地域はもとより警察・道路管理者等、関係機関と緊密な連携を図りながら進められてきた。施設一体型小中一貫校を設置することは、校区が広がることにつながる。場合によっては、通学に伴う交通事故や不審者等への対応も増えることが考えられることから、子どもたちの通学の際の安全をより確かなものにしなければならない。新たに通学路を設定する際には、これら関係機関と連携して、スクールゾーンの再設定を行うとともに、これまでの通学路も含め、カーブミラー、街灯、横断歩道や信号機、防犯カメラなどの対策を行い、児童生徒の安全確保を図ることは不可欠である。</p>

(4) 付帯事項

桑名市が小中一貫教育を推進する上で、重要な事項として5 点示します。今後、桑名市教育委員会においては、十分考慮して対応をとる必要があります。
①児童生徒の不安解消に向けた取組
<p>施設一体型小中一貫校を設置することは、新たな教育環境の中で子どもたちが過ごすこととなります。開校当初は、人間関係や今までの学校生活との違い等から不安を感じる子どもたちも生じてくると考えます。そこで、全市的な施設一体型での小中一貫教育の展開を見据え、小学校と小学校、小学校と中学校の接続をより意識した取組を実施することが重要です。</p> <p>また、開校後についてもより良い人間関係がさらに構築できるよう、継続的に指導・支援が行えるように、教員加配等の体制整備を行うことが重要です。</p>
②保護者・住民等への周知
<p>市民用アンケート結果より、小中一貫教育について「あまり知らない(43.0%)」という回答や小中一貫教育を推進していく際の心配として、「今の小学校と中学校がどのように変わるかについて分からない(58.7%)」と回答している割合が高くなっています。</p>

学校教育は、地域の方々にスクールサポーターとして子どもの通学の安全指導やゲストティーチャーとして協力いただくなど、様々な点から支援をいただき活動を支えてもらっています。そこで、小中一貫教育の推進に向け、児童生徒の保護者や将来の受益者である就学前の子どもの保護者の声を配慮しつつ、子どもたち一人ひとりにどのような教育を行い、どのような力をつけていくかについて保護者等に十分説明を行い、理解を図っていく必要があります。その上で、保護者や地域住民等が、地域ぐるみで子どもたちの9年間の学びを支える環境づくりに携わってもらえるような仕組みが構築されることを望みます。

また、学校は児童生徒の教育のための施設であるだけでなく、各地域コミュニティの核としての性格を有することが多く、防災、保育、地域の交流の場など、様々な機能を併せ持っています。そのため、学校評議員や地域の代表者等と協議を行いながら地域住民等に情報発信し、理解を得つつ、住民等の参画のもと『地域とともにある学校づくり』を行う必要があります。

③分散進学の見直し

桑名市は、自治会ごとに学校の通学区域が定められており、各小中学校は、地域の方々と連携、協力し教育活動を推進しています。そのなかで複数の中学校へ進学している小学校が7校（立教小、益世小、修徳小、大成小、桑部小、在良小、城南小）あります。

分散進学に関するアンケートでは、「同一小学校から同一中学校へ進学することを望みますか」の設問で、小学6年生は71.2%、中学1年生は68.5%が「そう思う・おおむねそう思う」と回答しています。

また、国では、『地域でどのような子どもたちを育てるのか、何を実現していくのかという目標やビジョンを地域住民等と共有し、地域と一体となって子どもたちを育て「地域とともにある学校」へと転換していく必要があります。』とし、学校運営協議会（コミュニティスクール）の設置を促しています。そこで、小中一貫教育を推進する際には、中学校区を基本とした学校運営協議会（コミュニティスクール）の設置を見据えて、各小学校で学校評議員等を中心に地域学校協働本部や学校運営協議会を設置することが望ましいと考えます。

その手立てとして桑名市は、地域と学校をつなぐコーディネーターの育成及び配置を行う等についても併せて検討することが望ましいと考えます。

小中一貫教育の導入にあたり、「目指す子どもの姿」や「カリキュラム」など小中学校がさらなる連携を図る上で、同一小学校の児童は原則同一の中学校に進学できる環境づくりが必要であること、概ね子どもの思いも同様であること、さらに地域に根差した学校づくりの視点から、分散進学は解消していくことが望ましいと考えます。その解消に向けた取組として、施設一体型小中一貫校の設置の検討の際には、保護者や地域住民等に対して今まで小学校区を中心に考えられていたコミュニティを中学校区に広げ、どのような学校に生まれ変わり、地域とどのような関わりを目指すのか等の新たな学校ビジョンについて丁寧な説明を行い、理解と協力を得ながら分散進学の解消を進めることが望まれます。そのため、関係部署と連携を図りながら、地域等に対して継続的な働きかけが必要であると考えます。

一方、分散進学は一部の子どもたちに、中学校進学時に新たなスタートが切れるという面もあります。配慮が必要な児童に対して学区外・区域外就学の制度を引き続き維持することも望まれます。

④教職員の負担軽減

現在、教職員の多忙化が指摘されていますが、小中一貫教育を導入するにあたっては、学校行事等による教職員の打ち合わせ時間や移動時間の確保等、これまで以上に教職員の業務が増加することが懸念されます。

そこで、桑名市教育委員会は、小中一貫教育を推進する上で、職員体制や学校体制について研究を進め、モデル校や研究指定校において会議の精選や効率化等を図る取組について検証する必要があります。

また、県費負担職員である教職員の配置について三重県教育委員会に対して、施設一体型や施設分離型（施設一体型が設置されるまでの間）での小中一貫教育が円滑に推進されるよう、小中一貫教育コーディネーターや教職員の加配等を要望していく必要があります。このことは、三重県教育委員会に対しての要望のみならず桑名市の独自の施策として検討することも必要であると考えます。

さらに、教職員が働きやすい環境を整備することで、本来の教育活動に専念できるようにすることも重要であると考えます。

⑤施設一体型小中一貫校の多機能化と教育環境の整備

施設一体型小中一貫校に複合的な機能を持たせる場合は、子どもたちにとって世代間交流等のメリットがあるなど、新たな視点での取組が可能となります。他にも、就学前教育施設や通級指導教室、学童保育等が併設されることで、各施設関係者がより連携しやすくなり、それぞれの専門分野の視点・アプローチの仕方で、家庭を含めた子どもの育ちを支援することもできます。その反面、施設の運用のあり方や安全性等について課題が生じることも想定されます。そこで、管理区分を明確にすることが必要となり、今後、複合化した施設全体の運営の仕組みについて十分検討し作り上げる必要があります。

また、ICT（情報通信技術）等の教育環境を整えることにより、9年間の学びの中で情報活用能力等を身に付けることができます。

現在、9つの中学校では、普通教室や特別支援教室等に空調機器が設置されています。施設一体型小中一貫校についても同様の整備がなされと考えますが、同一校舎には児童も在籍します。児童の普通教室等においても同様の整備が行われるべきであると考えます。

今後、設置される施設一体型小中一貫校は、これまでの概念にとらわれることなく、新たな学校施設になることを望みます。

4) 多度地区小中一貫校整備事業 基本構想・基本計画

(1) 基本コンセプト

『つながり』ではぐくむ 子どもたちの「学び」と「育ち」

(2) 大切にしたい3つの観点

① 9年間のつながりと交流を大切にした学校
<ul style="list-style-type: none"> ・ 学年段階の区切りを子どもたちの成長や実態に合わせて設定し、小学校文化と中学校文化のギャップを減らしてスムーズな接続ができ、通うのが楽しみになる学校にしたい。 ・ 様々な支援を必要とする子どもたちに適切な支援を提供することで、誰一人取り残さない教育ができる学校にしたい。
② 多度の自然や文化を大切にし、地域の核となる学校
<ul style="list-style-type: none"> ・ 多度山や多度峡などの豊かな自然について、多度祭や石取祭などの伝統文化等について深く学ぶことで、ふるさと多度を愛する子どもたちを育てる学校にしたい。 ・ 子どもたちとの関わりを中心とした多度地区全域のコミュニティ形成を強める役割を果たす、地域の核となる学校にしたい。
③ 夢を持ち、予測困難な社会を前向きに生き抜く力を育む学校
<ul style="list-style-type: none"> ・ 出会い・体験を通して子どもたちが自ら夢を持ち、その夢に向かって仲間とともに粘り強く努力し、自尊感情を高め「生きる力」を育める学校にしたい。 ・ 義務教育9年間を見据えた系統性のある一貫した英語活動、英語教育を充実させ、英語の力並びに国際的な視野を備えた子どもたちを育てる学校にしたい。

(3) 学校づくりの考え方

基本構想のコンセプトに示すように、施設一体型小中一貫校には「縦のつながり」と「横のつながり」を意識した学校づくりが求められます。そこで、それぞれの「つながり」について地域協議会、懇話会、ワークショップ、多度地区小・中学校教職員等からの聴き取り等を基に学校づくりの基本方針をまとめました。

今後、地域の方や保護者、教職員と対話を重ねながら、これらの基本方針を具現化できる学校づくりを目指します。

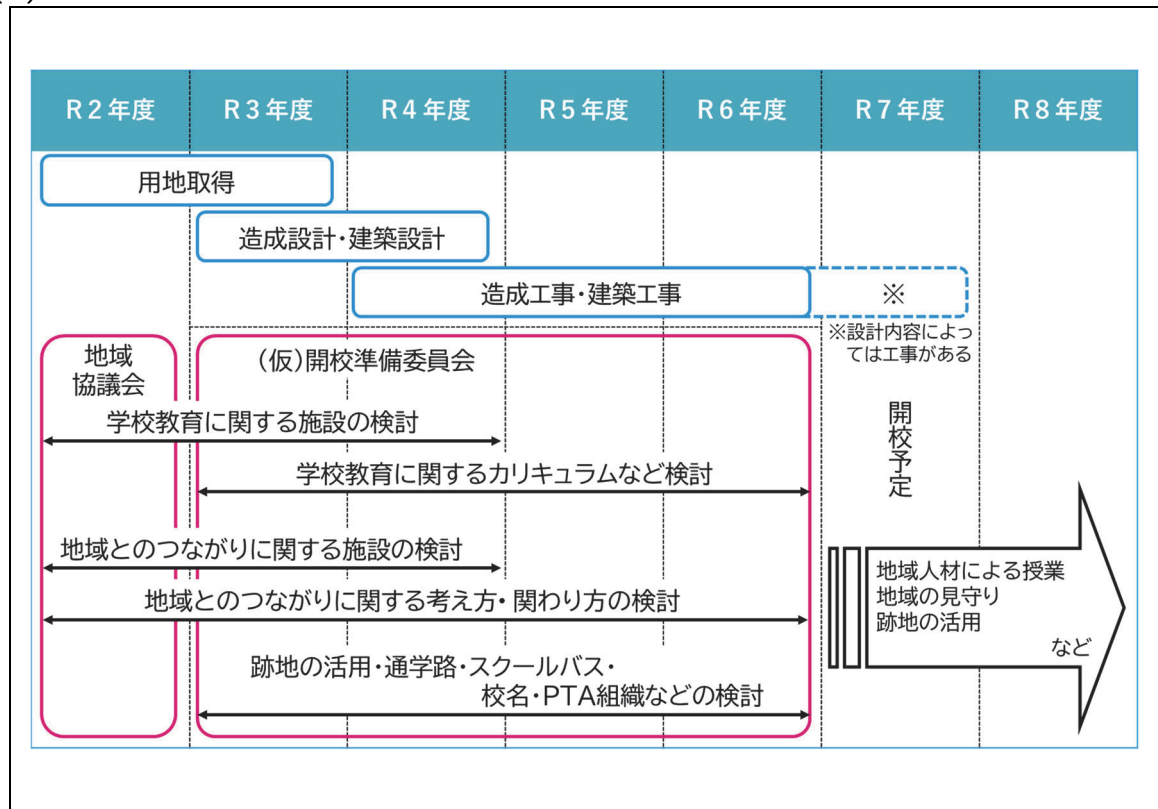
〈1〉「縦でつながる」学校づくり

- ① 切れ目のない教育を推進する学校づくり
 - ・教職員が9年間の系統性・連続性のある教育と指導を推進できる環境整備
 - ・「自覚と憧れを持つ機会」となる異学年の児童生徒が交流できる環境整備
 - ・特別支援教育、インクルーシブ教育を推進できる環境整備
 - ・不登校児童生徒への支援が充実した環境整備
 - ・子どもたちの成長・発達に応じた段階的な学習・生活環境整備(9年間の旅)
 - ・高学年になったら足を踏み入れる憧れの空間整備
- ② 特色ある教育活動を支える学校づくり
 - ・グローバル社会を生き抜く一貫した英語教育を推進できる環境整備
 - ・子どもたちが多様に活動でき、主体的・対話的な学びを保障する環境整備
 - ・ICT教育をはじめとする先端的教育を推進できる環境整備
 - ・外国人児童生徒教育を推進できる環境整備
 - ・健やかな体を育む食育を推進できる環境整備
 - ・運動に親しみ、体力を向上させる取組を推進できる環境整備
- ③ 安全・安心で子どもたちが楽しく通える学校づくり
 - ・充実した教育相談活動が可能な環境整備
 - ・安全・安心に登下校できる環境整備
 - ・多様な発達段階に対応し、子どもたちが生き生きと活動できる環境整備
 - ・安心して安全に遊べる環境整備
 - ・子ども一人ひとりにとって居心地がよく、居場所がある環境整備
 - ・SDGsの考えに基づいた環境学習・防災教育等を推進できる環境整備
 - ・教職員が快適で働きやすい環境整備

〈2〉「横でつながる」学校づくり

- ① 地域の特色を活かした学校づくり
 - ・敷地の高低差、優れた眺望を活かした「丘の上の学び舎」としての構造整備
 - ・多度の自然・伝統・歴史・文化を感じられる環境整備
 - ・旧多度町5小学校が蓄積してきた歴史を継承し、活かした環境整備
 - ・地域のヒト・モノ・コトとつながった郷土学習・キャリア教育を推進できる環境整備
- ② 地域とのつながりを強くする環境づくり
 - ・地域交流室等、地域の方や保護者と子どもたちが触れ合い、学校と一体となって活動ができる環境整備
 - ・地域の方同士の交流ができる環境整備
 - ・学校と共にある地域コミュニティの拠点整備
 - ・長期の避難に対応して地域の方が安全に安心して過ごすことができる、避難所としての施設整備
- ③ 子どもたちの放課後の居場所づくり
 - ・学童保育所等、子どもたちが安心して放課後を過ごせる環境整備

(4) 開校に向けたスケジュール



1.2 基礎情報の整理

1.2.1 過年度実施のアンケート結果の再分析

1) 目的

令和4年度に実施された「桑名市立小中学校に関するアンケート調査」において、問「桑名市の児童・生徒数の減少が推測される中、子どもたちが学びやすい学校規模にするために、今後どのようにすることが望ましいと思いますか。」に対して「複式学級になったり、児童・生徒数が極端に少なくなったりしていくとしても、現行の学校配置を維持するべき」と回答された方（以下「分析対象者」とする）の傾向について再分析し、本市として特に重点的に検討すべき事項を整理しました。

表 1-3 桑名市立小中学校に関するアンケート調査の概要

調査対象	市民調査	無作為抽出した満16歳以上の市民3,000人
	小学5年生とその保護者調査	小学5年生とその保護者
	中学2年生とその保護者調査	中学2年生とその保護者
	教職員調査	市内公立小中学校に勤務する教職員
調査期間		令和4年11月1日～令和4年12月16日
有効回答率	市民調査	39.7%
	小学5年生とその保護者調査	89.7%
	中学2年生とその保護者調査	91.6%
	教職員調査	94.7%

2) 総括

(1) 1学年あたりの望ましい学級数について

「市民調査」の問「あなたが思う望ましい小学校における1学年での学級数はどれですか。」の結果をみてみますと、全体回答では「1学年3学級（国が定める標準規模）」が望ましいという声が多かったですが、分析対象者においても「1学年2学級（国が定める標準規模）」が望ましいという声が多く、国が定める範囲の複数学級が必要と考えていることに変わりはないことがわかりました。

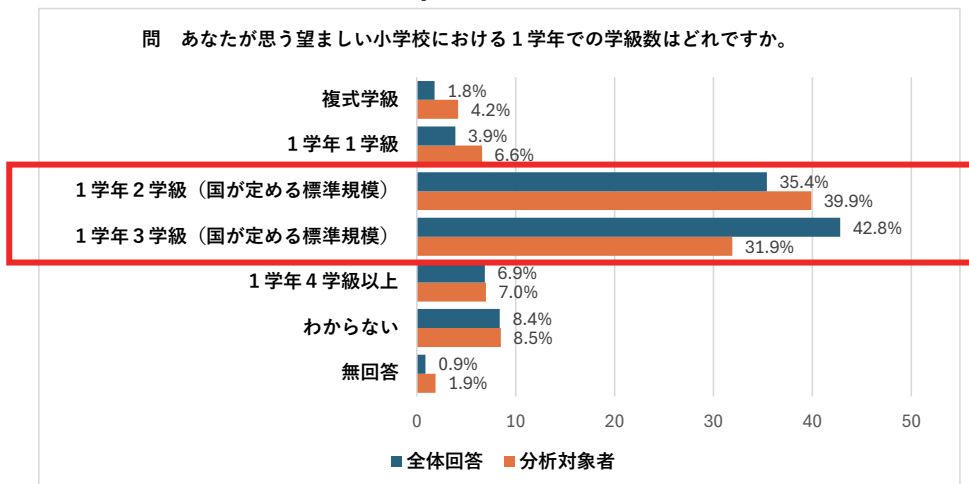


図 1-1 1学年あたりの望ましい学級数について

(2) 現状の児童・生徒数について

「市民調査」の問「あなたは、桑名市の児童・生徒の人数をどう思いますか。」の結果を見てみると、分析対象者の方が全体回答よりも、現状の児童・生徒数が少ないと認識しており、現在の学校規模に対して危機感を抱いていることがわかりました。

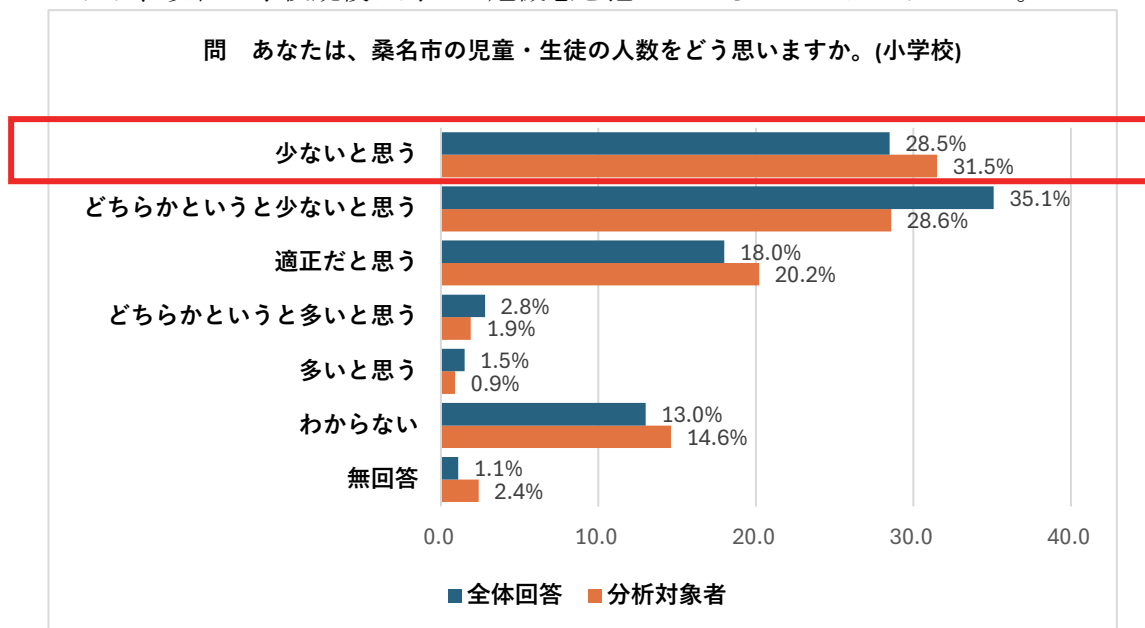


図 1-2 現状の児童数について

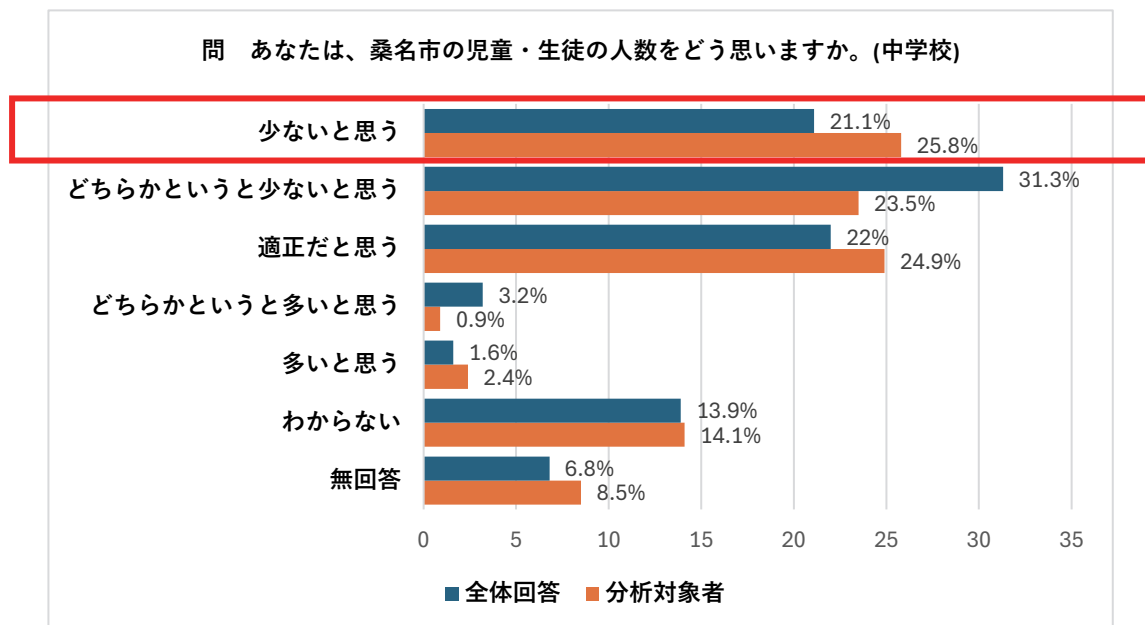


図 1-3 現状の生徒数について

(3) 望ましい教育環境について

「市民調査」の問「子どもたちにとって望ましい教育環境にするためにはどういったことが必要だと考えますか。」の結果を見てみると、分析対象者は全体回答と同様に「他者との関わりが多く、いろいろな個性と出会えること」と「教員が余裕を持って児童・生徒に関われること」を重要視していることがわかりました。

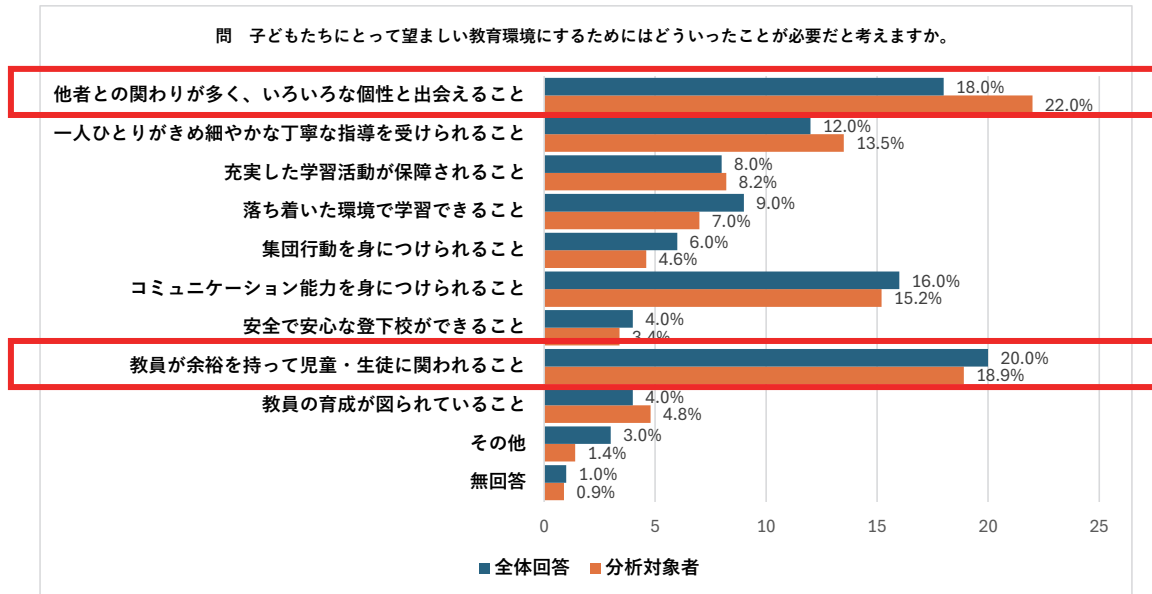


図 1-4 望ましい教育環境に必要なことについて

これらの内容は適切な学習環境を確保する上で非常に重要な視点です。本市は新たな小中一貫校の整備に当たっては、こうした内容についても重点的に検討することで、市民に望ましい教育環境の実現を図ります。

2 各学校施設の現状と課題

2.1 各校・建物の現況整理

各校の建物に関する現状について、桑名市学校施設適正管理計画（個別施設計画）を基に整理しました。

表 2-1 各建物の劣化状況に関する評価（1/6）

建物基本情報											劣化状況評価				
施設名	建物名	構造	階数	延べ床面積 (㎡)	建築年度	築年数	基準	診断	補強	長寿命判定	屋根・屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備
日進小学校	校舎	RC	3	1,300	S37	58	旧	済	済	長寿命	C	C	C	B	C
日進小学校	校舎	RC	3	2,060	S43	52	旧	済	済	長寿命	C	C	C	B	C
日進小学校	屋内運動場	S	2	805	H2	30	新	-	-	長寿命	B	B	B	A	A
精義小学校	校舎	RC	3	1,917	S36	59	旧	済	済	長寿命	C	B	D	B	C
精義小学校	校舎	RC	3	899	S40	55	旧	済	済	要調査	B	B	B	B	C
精義小学校	屋内運動場	S	2	709	S37	58	旧	済	済	長寿命	B	B	B	B	B
精義小学校	校舎	RC	2	284	S47	48	旧	済	済	要調査	C	A	C	B	C
立教小学校	校舎	RC	3	1,348	S42	53	旧	済	済	長寿命	B	B	C	B	C
立教小学校	校舎	RC	3	1,882	S44	51	旧	済	済	長寿命	B	B	C	B	C
立教小学校	校舎	RC	3	366	S44	51	旧	済	済	要調査	B	B	C	B	C
立教小学校	屋内運動場	S	1	729	H元	31	新	-	-	長寿命	C	C	B	A	A
城東小学校	屋内運動場	S	1	680	S63	32	新	-	-	長寿命	B	B	B	B	B
城東小学校	校舎	RC	3	2,812	H6	26	新	-	-	長寿命	B	B	B	A	A
益世小学校	校舎	RC	3	868	S41	54	旧	済	済	要調査	C	C	C	B	C
益世小学校	校舎	RC	3	1,213	S43	52	旧	済	済	要調査	C	C	C	B	C
益世小学校	校舎	RC	3	1,361	S44	51	旧	済	済	長寿命	C	C	C	B	C
益世小学校	屋内運動場	S	2	898	S45	50	旧	済	済	長寿命	B	C	B	B	C
益世小学校	屋内運動場	RC	1	86	S45	50	旧	済	済	要調査	B	C	B	B	C
益世小学校	校舎	RC	2	1,230	S46	49	旧	済	済	要調査	B	C	B	B	B
修徳小学校	校舎	RC	3	1,852	S43	52	旧	済	済	要調査	B	C	C	B	B
修徳小学校	校舎	RC	3	1,534	S53	42	旧	済	済	要調査	C	B	C	B	B
修徳小学校	屋内運動場	S	2	886	H15	17	新	-	-	長寿命	A	B	A	A	A
修徳小学校	校舎	S	1	257	H17	15	新	-	-	長寿命	A	A	A	A	A
大成小学校	校舎	RC	3	547	S38	57	旧	済	済	長寿命	C	C	C	C	C
大成小学校	校舎	RC	3	1,459	S41	54	旧	済	済	長寿命	C	C	C	C	C
大成小学校	校舎	RC	3	900	S52	43	旧	済	済	長寿命	C	C	C	C	B
大成小学校	校舎	RC	3	1,714	S53	42	旧	済	済	長寿命	C	C	C	C	B
大成小学校	屋内運動場	S	1	729	S62	33	新	-	-	長寿命	B	B	B	B	B
桑部小学校	校舎	RC	3	1,288	S49	46	旧	済	済	長寿命	C	C	C	B	C
桑部小学校	校舎	RC	3	1,775	S50	45	旧	済	済	長寿命	C	C	C	B	C
桑部小学校	屋内運動場	S	1	656	S54	41	旧	済	済	長寿命	C	B	B	B	B
桑部小学校	校舎	S	1	7	H9	23	新	-	-	長寿命	C	C	C	B	C
桑部小学校	校舎	S	1	390	S53	42	旧	済	済	要調査	C	C	B	C	D

表 2-2 各建物の劣化状況に関する評価 (2/6)

建物基本情報											劣化状況評価				
施設名	建物名	構造	階数	延べ床面積 (㎡)	建築年度	築年数	基準	診断	補強	長寿命判定	屋根・屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備
在良小学校	校舎	RC	4	1,899	S45	50	旧	済	済	長寿命	C	C	C	C	C
在良小学校	校舎	RC	3	1,543	S47	48	旧	済	済	長寿命	B	C	C	C	C
在良小学校	校舎	RC	3	876	S52	43	旧	済	済	長寿命	B	B	C	B	B
在良小学校	屋内運動場	S	2	799	S53	42	旧	済	済	要調査	B	B	B	A	A
七和小学校	校舎	RC	3	1,333	S46	49	旧	済	済	長寿命	B	B	B	B	B
七和小学校	校舎	RC	3	1,110	S52	43	旧	済	済	長寿命	B	B	B	B	B
七和小学校	校舎	RC	3	1,095	S53	42	旧	済	済	長寿命	B	B	B	B	B
七和小学校	校舎	RC	2	794	S54	41	旧	済	済	長寿命	C	B	B	B	B
七和小学校	屋内運動場	S	2	907	H3	29	新	-	-	長寿命	B	B	B	B	B
久米小学校	校舎	RC	3	629	S46	49	旧	済	済	長寿命	C	B	C	B	B
久米小学校	校舎	RC	3	2,147	S47	48	旧	済	済	長寿命	C	B	C	B	B
久米小学校	校舎	RC	1	200	S47	48	旧	済	済	要調査	C	B	B	B	B
久米小学校	屋内運動場	S	2	593	S48	47	旧	済	済	長寿命	B	B	B	B	B
久米小学校	校舎	RC	3	846	H10	22	新	-	-	長寿命	B	B	B	B	B
久米小学校	校舎	S	1	66	H12	20	新	-	-	長寿命	A	B	A	A	B
久米小学校	校舎	S	1	66	H13	19	新	-	-	長寿命	B	B	A	A	B
深谷小学校	校舎	RC	3	980	S45	50	旧	済	済	長寿命	C	A	D	A	A
深谷小学校	校舎	RC	3	1,727	S53	42	旧	済	済	長寿命	D	A	B	A	A
深谷小学校	校舎	S	2	146	S53	42	旧	済	済	要調査	C	A	A	A	A
深谷小学校	校舎	RC	3	1,579	S54	41	旧	済	済	長寿命	D	C	B	A	A
深谷小学校	校舎	S	2	53	S54	41	旧	済	済	要調査	C	A	A	A	A
深谷小学校	校舎	RC	3	1,183	S55	40	旧	済	済	長寿命	D	C	B	A	A
深谷小学校	屋内運動場	S	2	905	H2	30	新	-	-	長寿命	C	B	B	A	A
深谷小学校	屋内運動場	S	2	51	H2	30	新	-	-	長寿命	A	B	B	A	B
城南小学校	校舎	RC	2	363	S36	59	旧	済	済	長寿命	C	D	D	B	C
城南小学校	校舎	RC	3	1,159	S37	58	旧	済	済	長寿命	C	D	D	B	C
城南小学校	校舎	RC	2	534	S42	53	旧	済	済	長寿命	C	D	D	B	C
城南小学校	校舎	RC	3	481	S45	50	旧	済	済	長寿命	C	D	D	B	C
城南小学校	校舎	RC	1	397	S48	47	旧	済	済	長寿命	C	C	D	B	D
城南小学校	校舎	RC	3	1,224	S54	41	旧	済	済	長寿命	C	C	D	B	D
城南小学校	校舎	RC	1	5	S54	41	旧	済	済	要調査	C	C	D	B	D
城南小学校	屋内運動場	S	1	795	S54	41	旧	済	済	長寿命	C	B	C	B	B
城南小学校	校舎	RC	1	210	S54	41	旧	済	済	要調査	C	D	D	B	C
大和小学校	校舎	RC	3	1,292	S45	50	旧	済	済	長寿命	B	B	B	B	B
大和小学校	校舎	RC	3	1,599	S46	49	旧	済	済	長寿命	B	B	B	B	B
大和小学校	校舎	S	1	10	H21	11	新	-	-	長寿命	A	A	A	A	A
大和小学校	屋内運動場	S	2	572	S47	48	旧	済	済	長寿命	B	B	B	B	B
大和小学校	屋内運動場	RC	1	60	S47	48	旧	済	済	要調査	B	B	C	B	B

表 2-3 各建物の劣化状況に関する評価 (3/6)

建物基本情報											劣化状況評価				
施設名	建物名	構造	階数	延べ床面積 (㎡)	建築年度	築年数	基準	診断	補強	長寿命判定	屋根・屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備
大山田東小学校	校舎	RC	3	2,522	S53	42	旧	済	済	長寿命	C	B	B	B	B
大山田東小学校	校舎	S	1	10	H24	8	新	-	-	長寿命	A	A	A	A	A
大山田東小学校	校舎	RC	3	1,055	S55	40	旧	済	済	長寿命	B	B	C	B	B
大山田東小学校	校舎	RC	3	1,056	S55	40	旧	済	済	長寿命	B	B	C	B	B
大山田東小学校	屋内運動場	S	2	799	S55	40	旧	済	済	要調査	B	B	B	B	B
大山田東小学校	校舎	S	1	465	H24	8	新	-	-	長寿命	A	A	A	A	A
大山田東小学校	校舎	RC	3	1,747	H29	3	新	-	-	長寿命	A	A	A	A	A
大山田北小学校	校舎	RC	3	4,066	S56	39	旧	-	-	長寿命	D	D	C	A	B
大山田北小学校	校舎	RC	1	156	S56	39	旧	-	-	長寿命	D	D	C	A	B
大山田北小学校	屋内運動場	S	1	729	S57	38	新	-	-	長寿命	C	C	B	A	A
大山田北小学校	校舎	S	2	631	H26	6	新	-	-	長寿命	A	A	A	A	A
大山田西小学校	校舎	RC	3	1,544	S59	36	新	-	-	長寿命	D	C	C	A	B
大山田西小学校	校舎	RC	3	1,543	S59	36	新	-	-	長寿命	D	C	C	A	B
大山田西小学校	校舎	RC	1	125	S59	36	新	-	-	長寿命	D	C	C	A	B
大山田西小学校	屋内運動場	S	1	729	S60	35	新	-	-	長寿命	C	C	B	B	B
大山田南小学校	校舎	RC	3	3,173	H2	30	新	-	-	長寿命	B	B	B	B	B
大山田南小学校	校舎	RC	1	143	H2	30	新	-	-	長寿命	B	B	B	B	B
大山田南小学校	屋内運動場	S	1	729	H2	30	新	-	-	長寿命	B	B	B	B	B
藤が丘小学校	校舎	RC	3	3,232	H6	26	新	-	-	長寿命	B	C	B	B	B
藤が丘小学校	校舎	RC	1	154	H6	26	新	-	-	長寿命	B	C	B	B	B
藤が丘小学校	屋内運動場	S	2	840	H6	26	新	-	-	長寿命	B	B	B	B	B
藤が丘小学校	校舎	S	1	164	H12	20	新	-	-	長寿命	B	B	C	B	B
星見ヶ丘小学校	校舎	RC	2	5,073	H12	20	新	-	-	長寿命	D	B	C	A	A
星見ヶ丘小学校	屋内運動場	RC	2	898	H12	20	新	-	-	長寿命	C	A	B	A	A
多度中小学校	校舎	RC	3	4,580	S56	39	旧	済	済	要調査	C	C	C	C	C
多度中小学校	屋内運動場	S	3	1,123	H3	29	新	-	-	長寿命	B	B	B	B	B
多度中小学校	地域・学校 連携施設	S	3	283	H3	29	新	-	-	長寿命	B	B	B	B	B
多度東小学校	校舎	RC	3	1,916	S51	44	旧	済	済	長寿命	D	D	C	B	C
多度東小学校	屋内運動場	S	2	576	S53	42	旧	済	済	要調査	B	B	C	B	B
多度北小学校	校舎	RC	3	2202	S56	39	旧	-	-	長寿命	C	C	B	B	B
多度北小学校	屋内運動場	S	1	601	S56	39	旧	-	-	長寿命	C	B	B	B	B
多度青葉小学校	校舎	RC	3	1,904	S50	45	旧	済	済	長寿命	C	B	B	B	B
多度青葉小学校	屋内運動場	S	1	561	S58	37	新	-	-	長寿命	B	C	B	B	B

表 2-4 各建物の劣化状況に関する評価 (4/6)

建物基本情報											劣化状況評価				
施設名	建物名	構造	階数	延べ床面積 (㎡)	建築年度	築年数	基準	診断	補強	長寿命判定	屋根・屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備
長島北部小学校	校舎	RC	2	986	S57	38	新	-	-	長寿命	B	C	B	B	B
長島北部小学校	校舎	RC	2	1,158	S52	43	旧	済	済	長寿命	B	B	B	B	B
長島北部小学校	校舎	RC	3	1,096	S57	38	新	-	-	長寿命	B	B	B	B	B
長島北部小学校	屋内運動場	S	1	618	S53	42	旧	済	済	要調査	B	B	B	B	B
長島中部小学校	校舎	RC	3	573	S44	51	旧	済	済	長寿命	B	B	B	B	B
長島中部小学校	校舎	RC	3	1,806	S45	50	旧	済	済	長寿命	B	B	B	B	B
長島中部小学校	校舎	RC	3	256	S45	50	旧	済	済	長寿命	B	B	B	B	B
長島中部小学校	校舎	S	1	22	S58	37	新	-	-	長寿命	B	B	B	B	B
長島中部小学校	校舎	RC	3	256	S44	51	旧	済	済	長寿命	B	B	B	B	B
長島中部小学校	校舎	RC	3	1,719	S56	39	旧	済	済	長寿命	C	B	C	B	B
長島中部小学校	屋内運動場	S	3	1,037	S56	39	旧	済	済	長寿命	B	C	B	B	B
伊曽島小学校	校舎	RC	3	1,876	S53	42	旧	済	済	要調査	C	B	C	B	C
伊曽島小学校	校舎	RC	1	95	S53	42	旧	済	済	要調査	C	B	C	B	C
伊曽島小学校	校舎	RC	1	17	S53	42	旧	済	済	要調査	C	B	C	B	C
伊曽島小学校	校舎	RC	1	11	S53	42	旧	済	済	要調査	C	B	C	B	C
伊曽島小学校	屋内運動場	S	1	618	S53	42	旧	済	済	長寿命	B	B	B	B	A
伊曽島小学校	校舎	RC	3	1,001	H5	27	新	-	-	長寿命	C	B	C	B	C
伊曽島小学校	校舎	S	1	108	H5	27	新	-	-	長寿命	B	B	A	A	A
成徳中学校	校舎	RC	3	1,487	S40	55	旧	済	済	長寿命	C	C	B	B	B
成徳中学校	校舎	RC	3	1,521	S41	54	旧	済	済	長寿命	C	C	B	B	B
成徳中学校	校舎	S	1	4	H7	25	新	-	-	長寿命	B	B	B	B	B
成徳中学校	校舎	RC	2	1,038	S41	54	旧	済	済	要調査	C	B	C	B	B
成徳中学校	校舎	RC	2	54	S41	54	旧	済	済	要調査	B	B	B	B	B
成徳中学校	校舎	S	1	290	S41	54	旧	済	済	要調査	B	B	B	B	B
成徳中学校	屋内運動場	S	2	946	S38	57	旧	済	済	長寿命	B	C	C	B	B
成徳中学校	屋内運動場	S	1	140	S44	51	旧	済	済	要調査	B	C	C	B	B
成徳中学校	校舎	RC	3	687	S57	38	新	-	-	長寿命	B	B	C	B	B
成徳中学校	校舎	S	1	357	S62	33	新	-	-	長寿命	B	B	B	B	B
成徳中学校	校舎	S	1	248	H3	29	新	-	-	長寿命	B	C	B	A	A
明正中学校	校舎	RC	3	1,883	S38	57	旧	済	済	長寿命	B	B	C	B	C
明正中学校	校舎	RC	3	537	S39	56	旧	済	済	長寿命	B	B	C	B	C
明正中学校	校舎	RC	3	1,268	S39	56	旧	済	済	長寿命	B	B	C	C	C
明正中学校	校舎	RC	3	626	S40	55	旧	済	済	要調査	B	B	C	C	C
明正中学校	校舎	RC	3	35	S38	57	旧	済	済	要調査	B	B	B	B	C
明正中学校	校舎	RC	3	35	S40	55	旧	済	済	要調査	B	B	B	B	C
明正中学校	校舎	RC	3	70	S39	56	旧	済	済	要調査	A	B	B	B	C
明正中学校	校舎	RC	3	936	S63	32	新	-	-	長寿命	B	B	C	B	C
明正中学校	屋内運動場	S	1	1,222	H元	31	新	-	-	長寿命	C	C	B	B	B
明正中学校	地域・学校 連携施設	S	1	400	H元	31	新	-	-	長寿命	C	C	B	B	B

表 2-5 各建物の劣化状況に関する評価 (5/6)

建物基本情報											劣化状況評価				
施設名	建物名	構造	階数	延べ床面積 (㎡)	建築年度	築年数	基準	診断	補強	長寿命判定	屋根・屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備
光風中学校	屋内運動場	S	2	1,129	S37	58	旧	済	済	長寿命	B	B	B	B	B
光風中学校	校舎	RC	4	1,657	S49	46	旧	済	済	長寿命	B	B	C	B	B
光風中学校	校舎	RC	4	1,399	S50	45	旧	済	済	長寿命	B	B	C	B	B
光風中学校	校舎	RC	4	493	S50	45	旧	済	済	長寿命	C	B	C	B	B
光風中学校	校舎	RC	4	1,807	S51	44	旧	済	済	長寿命	C	B	C	B	B
光風中学校	校舎	S	2	270	S51	44	旧	済	済	要調査	C	B	C	B	B
光風中学校	校舎	S	2	69	S59	36	新	-	-	長寿命	C	C	B	B	B
陽和中学校	校舎	RC	4	3,819	S61	34	新	-	-	長寿命	C	B	B	B	B
陽和中学校	校舎	RC	2	41	S61	34	新	-	-	長寿命	B	B	B	B	B
陽和中学校	校舎	RC	3	1,656	S61	34	新			長寿命	C	B	B	A	A
陽和中学校	屋内運動場	S	1	1,233	S61	34	新	-	-	長寿命	C	C	C	B	A
陽和中学校	地域・学校 連携施設	S	2	199	S61	34	新	-	-	長寿命	C	C	C	B	A
正和中学校	校舎	RC	3	1,553	S49	46	旧	済	済	長寿命	B	B	C	B	B
正和中学校	校舎	RC	2	1,578	S49	46	旧	済	済	長寿命	B	B	C	B	B
正和中学校	校舎	RC	4	1,515	S53	42	旧	済	済	長寿命	B	B	C	B	B
正和中学校	校舎	RC	4	624	S54	41	旧	済	済	長寿命	B	B	C	B	B
正和中学校	屋内運動場	S	2	1,149	S50	45	旧	済	済	要調査	B	C	B	B	B
正和中学校	校舎	S	1	299	S60	35	新	-	-	長寿命	C	C	B	B	B
正和中学校	校舎	S	1	200	H3	29	新	-	-	長寿命	B	B	A	A	A
陵成中学校	校舎	RC	3	1,831	S56	39	旧	-	-	長寿命	C	B	C	B	B
陵成中学校	校舎	RC	3	1,830	S56	39	旧	-	-	長寿命	C	B	C	B	B
陵成中学校	校舎	RC	3	1,552	S60	35	新	-	-	長寿命	C	B	C	B	B
陵成中学校	校舎	S	1	298	S56	39	旧	-	-	長寿命	B	B	B	B	C
陵成中学校	屋内運動場	S	2	1,082	S56	39	旧	-	-	長寿命	C	B	B	B	B
陵成中学校	校舎	S	2	394	H25	7	新	-	-	長寿命	A	A	A	A	A
光陵中学校	校舎	RC	3	2,728	S63	32	新	-	-	長寿命	C	C	C	B	B
光陵中学校	校舎	RC	3	1,882	S63	32	新	-	-	長寿命	C	B	B	B	A
光陵中学校	校舎	RC	2	41	S63	32	新	-	-	長寿命	C	B	B	A	B
光陵中学校	屋内運動場	S	1	983	S63	32	新	-	-	長寿命	C	C	B	B	A
光陵中学校	地域・学校 連携施設	S	2	195	S63	32	新	-	-	長寿命	C	C	B	B	A
光陵中学校	校舎	RC	2	475	H18	14	新	-	-	長寿命	B	B	A	A	A

表 2-6 各建物の劣化状況に関する評価 (6/6)

建物基本情報											劣化状況評価				
施設名	建物名	構造	階数	延べ床面積 (㎡)	建築年度	築年数	基準	診断	補強	長寿命判定	屋根・屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備
長島中学校	屋内運動場	S	2	1,140	S59	36	新	-	-	長寿命	B	B	B	C	B
長島中学校	屋内運動場	S	2	75	H16	16	新	-	-	長寿命	A	A	B	A	B
長島中学校	地域・学校 連携施設	S	2	502	S59	36	新	-	-	長寿命	B	B	B	B	B
長島中学校	校舎	RC	2	1,865	S60	35	新	-	-	長寿命	B	B	B	B	B
長島中学校	校舎	RC	3	2,797	H15	17	新	-	-	長寿命	B	B	B	B	B
長島中学校	校舎	RC	2	1,751	H16	16	新	-	-	長寿命	A	A	A	A	A
長島中学校	屋内運動場	RC	2	663	H16	16	新	-	-	長寿命	B	A	A	A	B

市内の小学校 23 校の内 19 校で旧耐震基準の建物があり、中学校 8 校の内 5 校で旧耐震基準の建物があります。

対象施設となる建築物は、全て適切な診断・補強がなされており、耐震安全性が確保されていますが、劣化状況評価で D 判定（早急に対応する必要がある）を受けている施設は 21 施設あり、今後早急な対応が必要となる施設が増加する可能性があります。

2.2 各地区の通学路及び危険個所の整理

各地区の通学路及び危険個所を以下に示します。

危険個所は、三重県警察がまとめている「交通事故発生状況マップ」を基に、令和2年4月～令和6年12月に桑名市内で発生した子どもの事故を抽出・整理しました。

1) 整備候補地「橙」

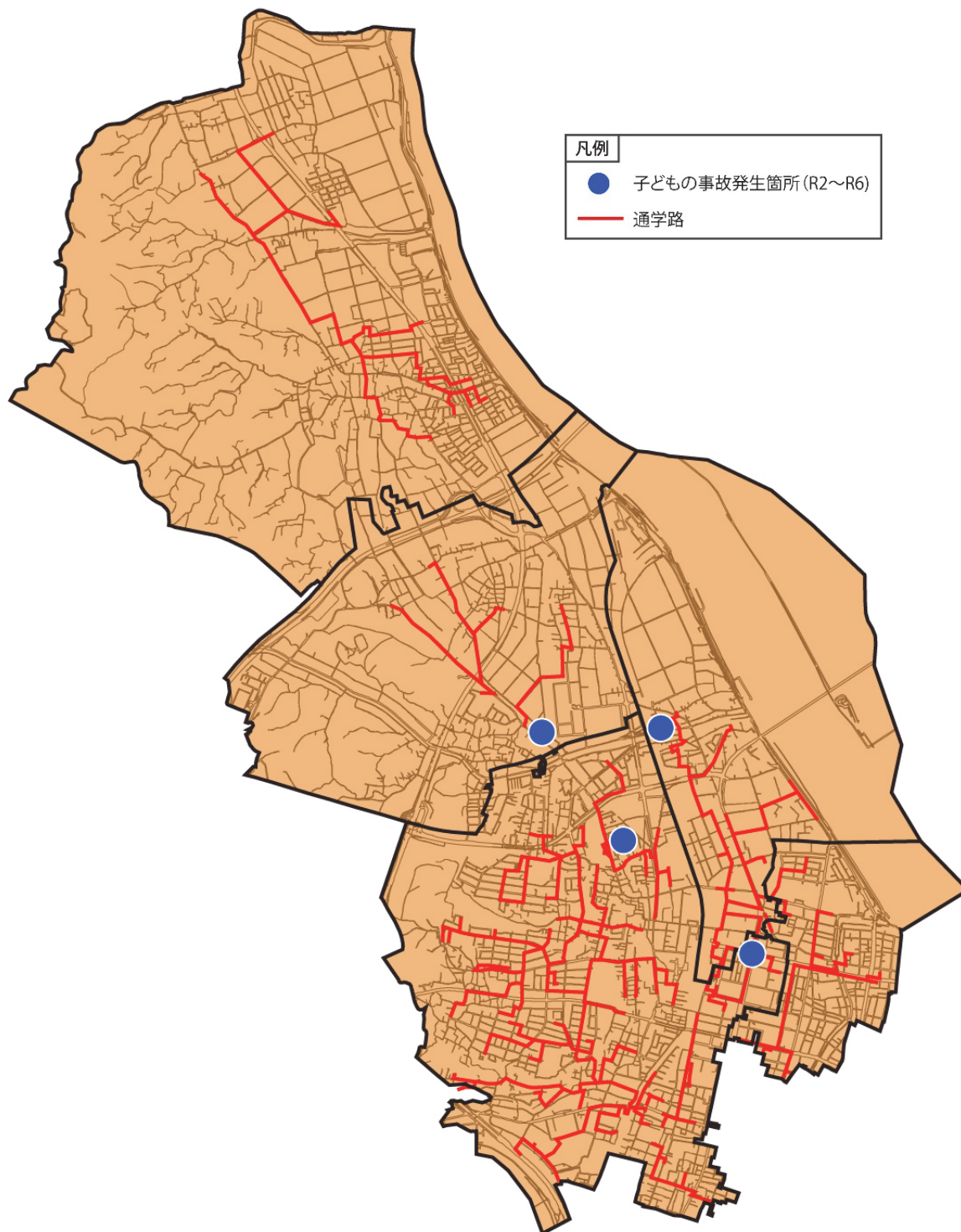


図 2-1 通学路及び桑名市内の子どもの事故発生箇所（整備候補地「橙」）

2) 整備候補地「黄色」

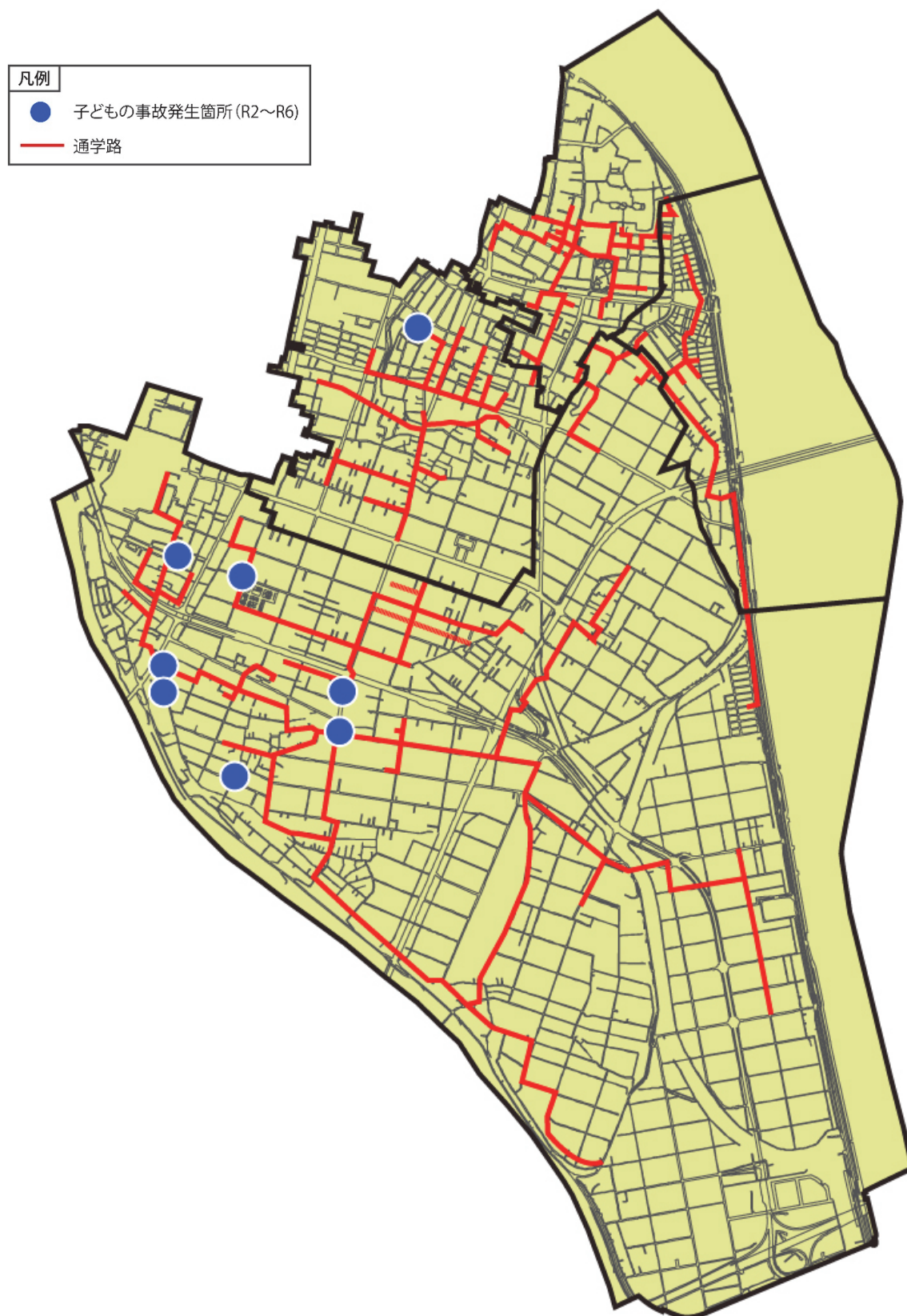


図 2-2 通学路及び桑名市内の子どもの事故発生箇所（整備候補地「黄色」）

3) 整備候補地「緑」

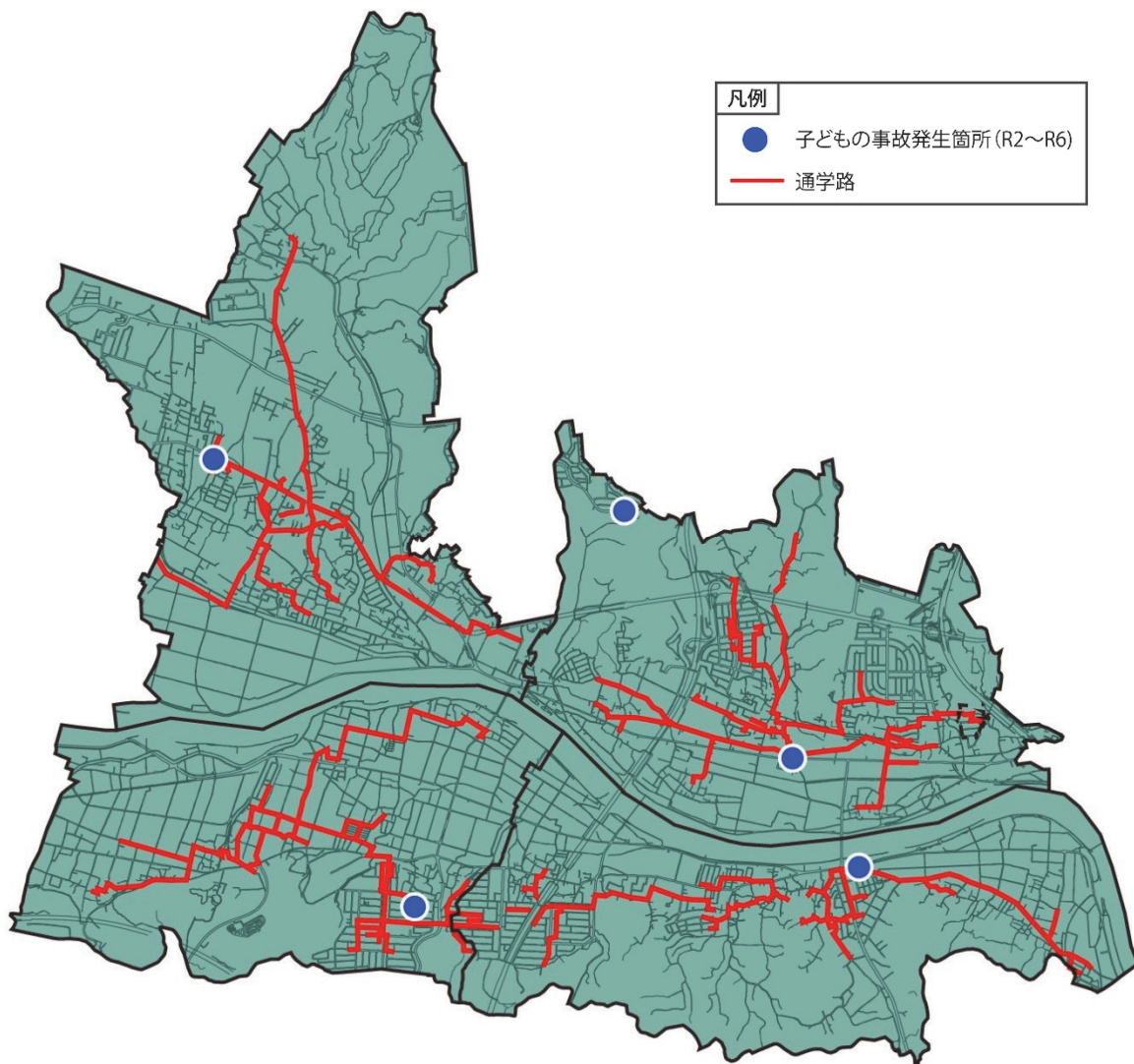


図 2-3 通学路及び桑名市内の子どもの事故発生箇所（整備候補地「緑」）

4) 整備候補地「水色」

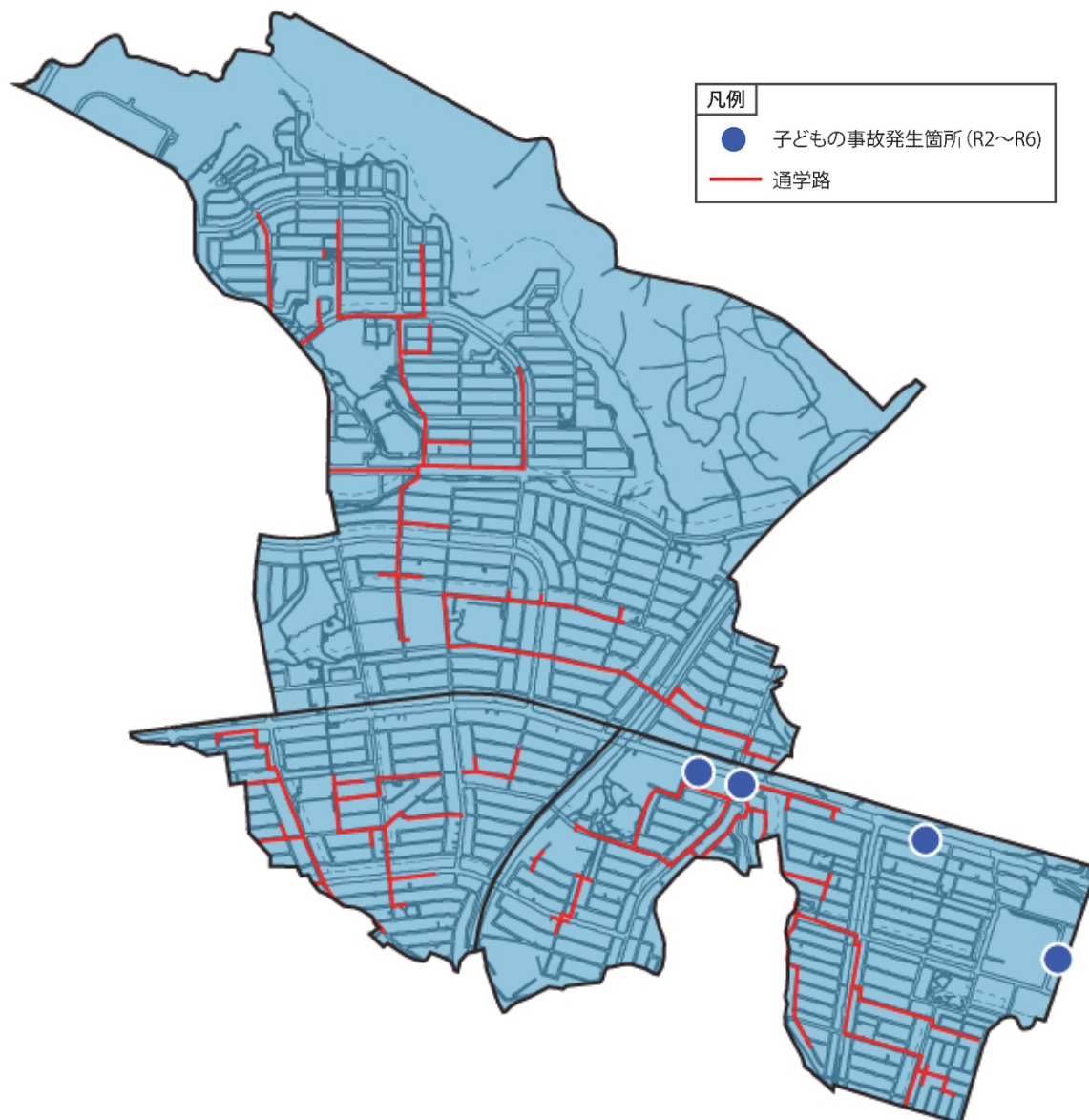


図 2-4 通学路及び桑名市内の子どもの事故発生箇所（整備候補地「水色」）

5) 整備候補地「青」

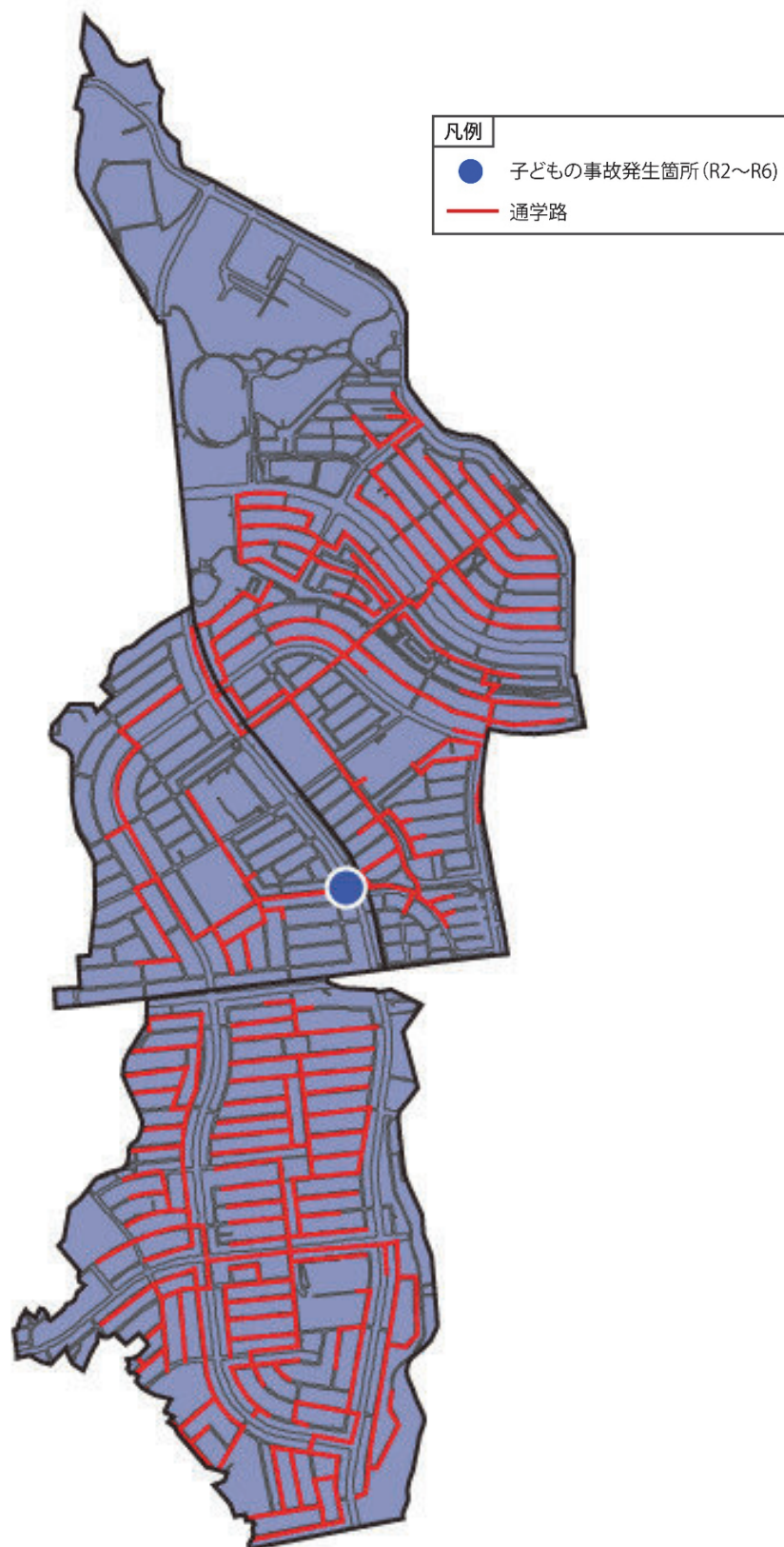


図 2-5 通学路及び桑名市内の子どもの事故発生箇所（整備候補地「青」）

6) 整備候補地「紫」

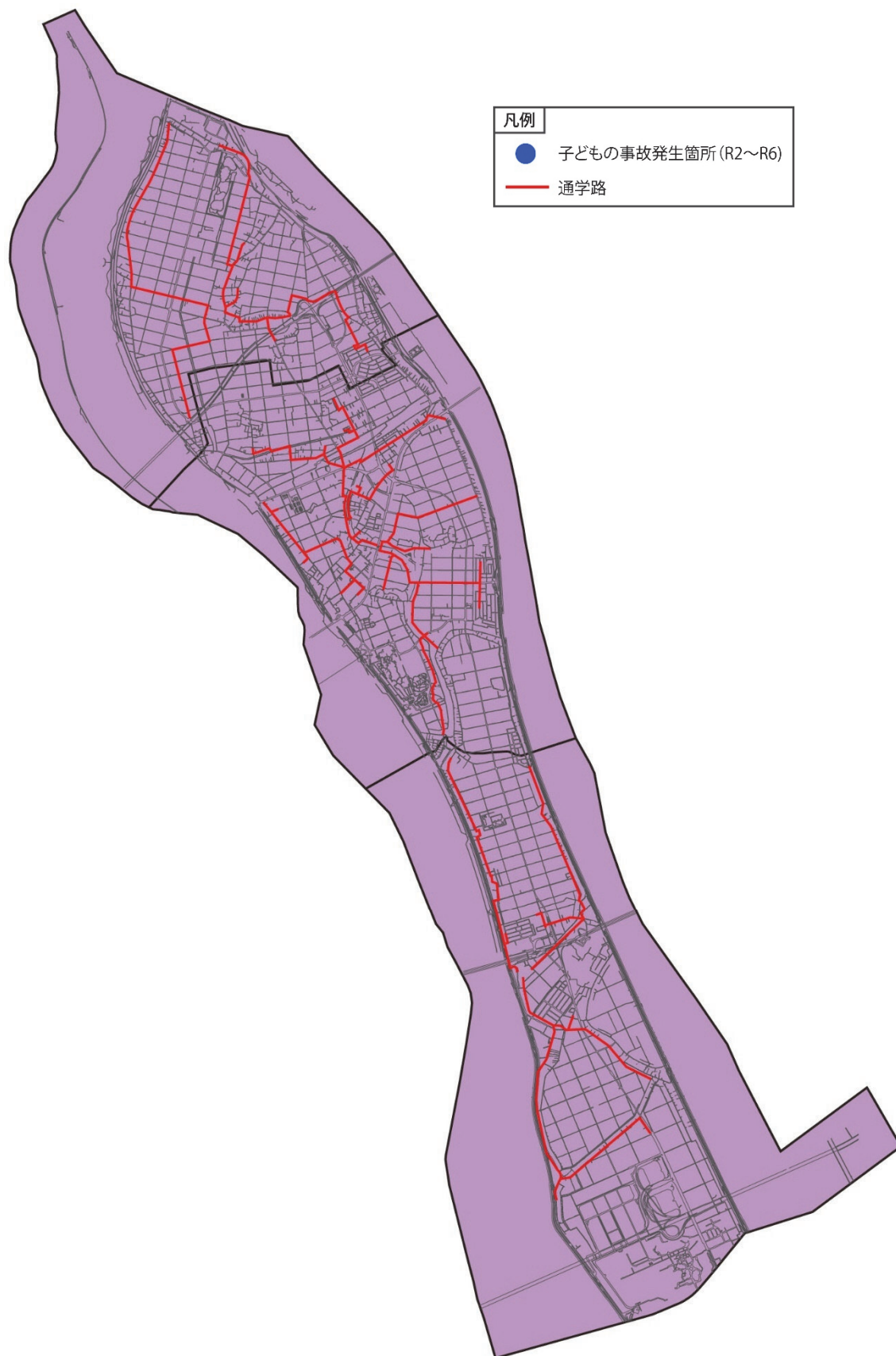


図 2-6 通学路及び桑名市内の子どもの事故発生箇所（整備候補地「紫」）

3 地区別の人口動向と児童・生徒数及び学級数推計

3.1 市内地域別の人口動向の整理

1) 桑名市全域の将来推計

桑名市全域の将来人口の推計結果を以下に示します。令和2年の国勢調査を基に人口問題研究所が作成した将来推計によると、桑名市では令和32年に向けて緩やかに減少していき、令和32年には令和2年の約8割に減少すると想定されます。

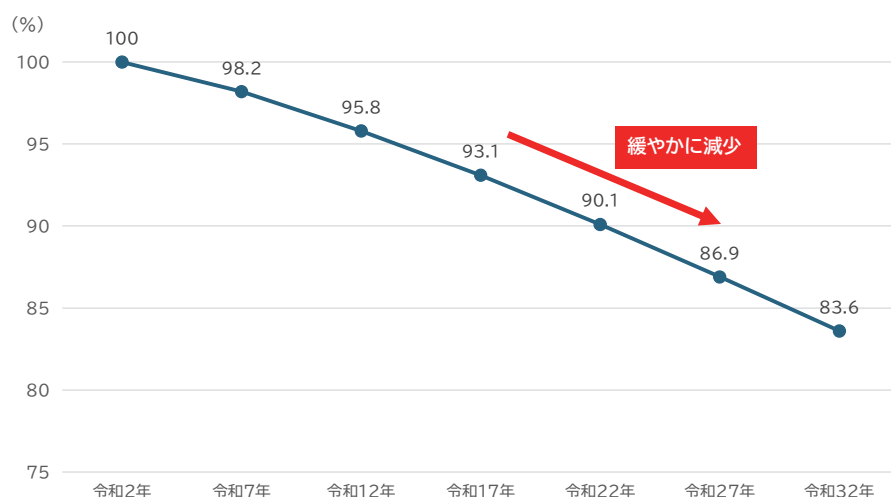


図 3-1 桑名市全体の将来人口推計

出典：日本の地域別将来推計人口 令和5年推計（国立社会保障・人口問題研究所）

また、昭和44年から令和45年までの桑名市全体の児童・生徒数の推移を以下に示します。

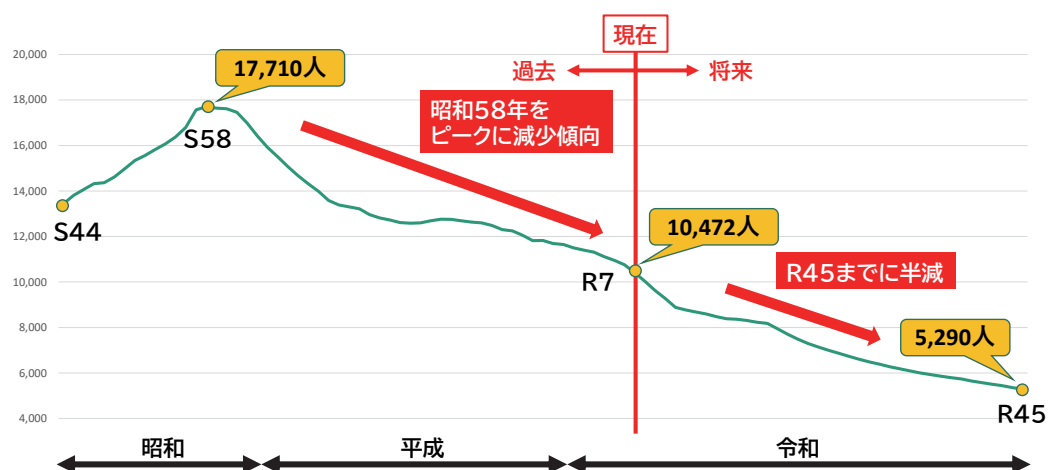


図 3-2 桑名市全体の児童・生徒数

出典：桑名市

児童・生徒数は昭和58年度に最大17,710人まで増加しましたが、その後減少傾向に転じ、令和7年度には10,472人となっています。また、将来推計でも今後も減少傾向が続く、令和45年度には令和6年度の半数以下の5,290人まで減少すると想定されています。

3.2 各学校における各種課題発生想定時期の整理

各学校における令和5年度から令和45年度までの児童・生徒数及び学級数の推移を以下に示します。

3.2.1 各小学校の整理

1) 日進小学校

日進小学校の児童数及び学級数の推移を以下に示します。

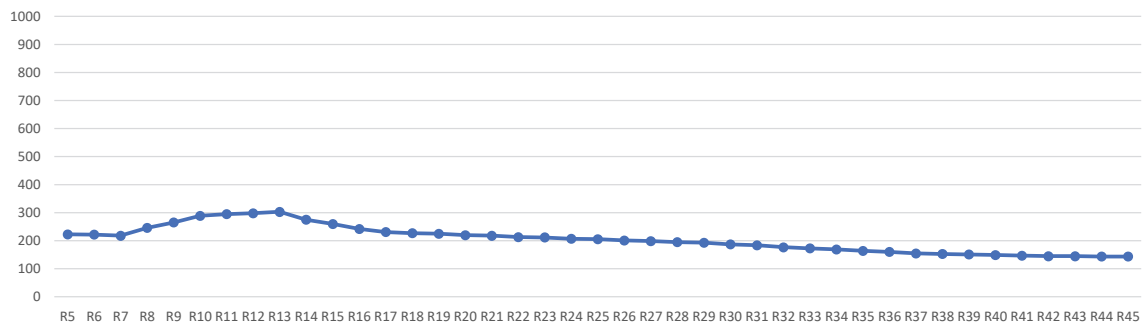


図 3-3 日進小学校の児童数

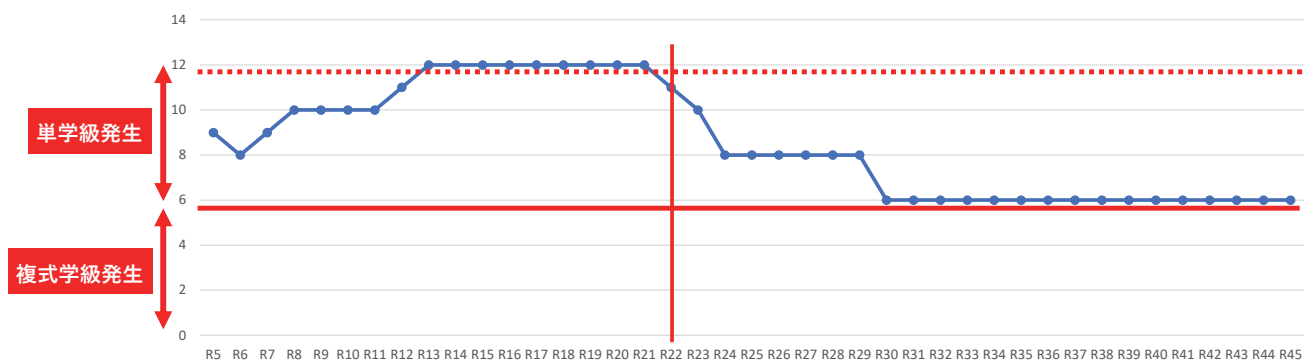


図 3-4 日進小学校の学級数

出典：桑名市

令和13年度までは児童数が増加傾向にある一方、学級数については令和22年以降単学級になると想定されます。

2) 精義小学校

精義小学校の児童数及び学級数の推移を以下に示します。

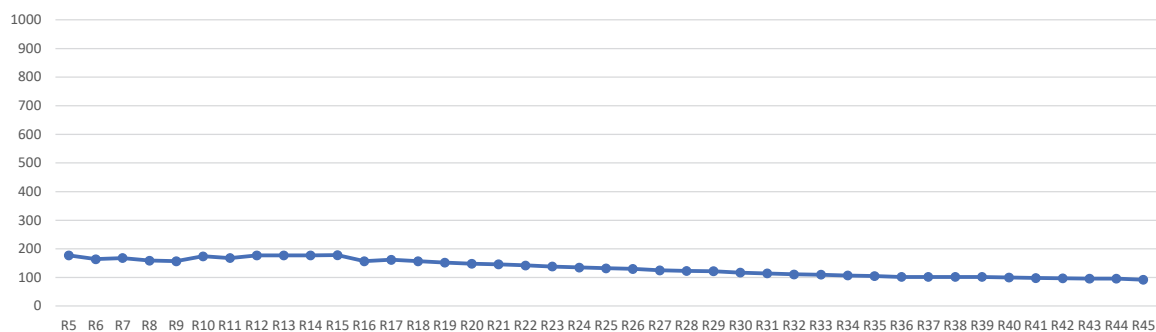


図 3-5 精義小学校の児童数

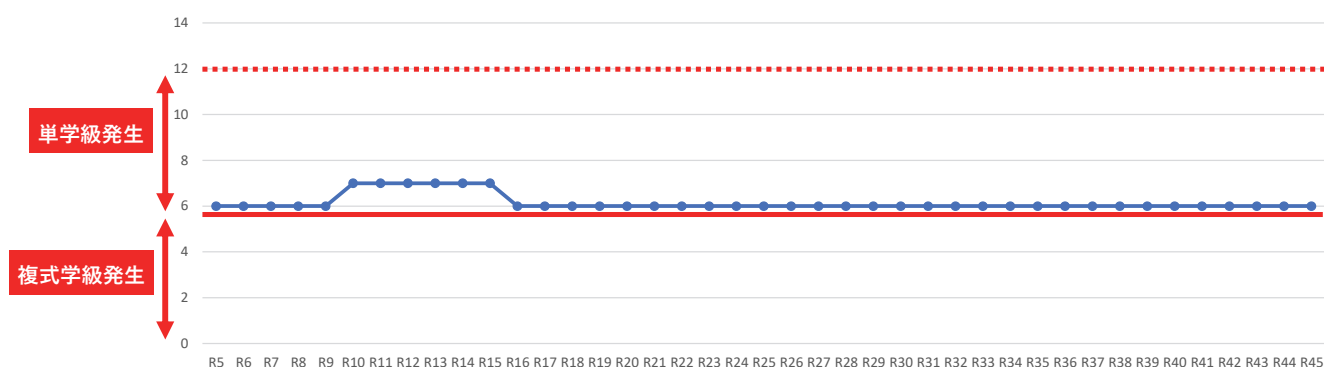


図 3-6 精義小学校の学級数

出典：桑名市

児童数は緩やかに減少傾向であり、学級数については複式学級の発生はないものの、常に単学級が発生すると想定されます。

3) 立教小学校

立教小学校の児童数及び学級数の推移を以下に示します。

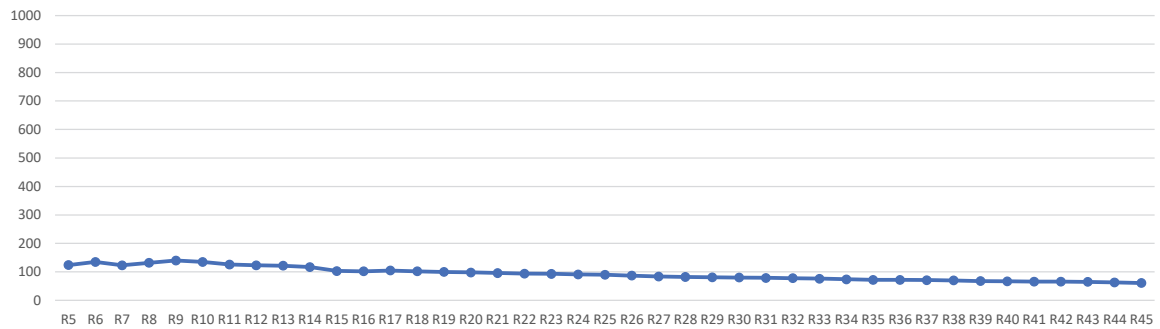


図 3-7 立教小学校の児童数

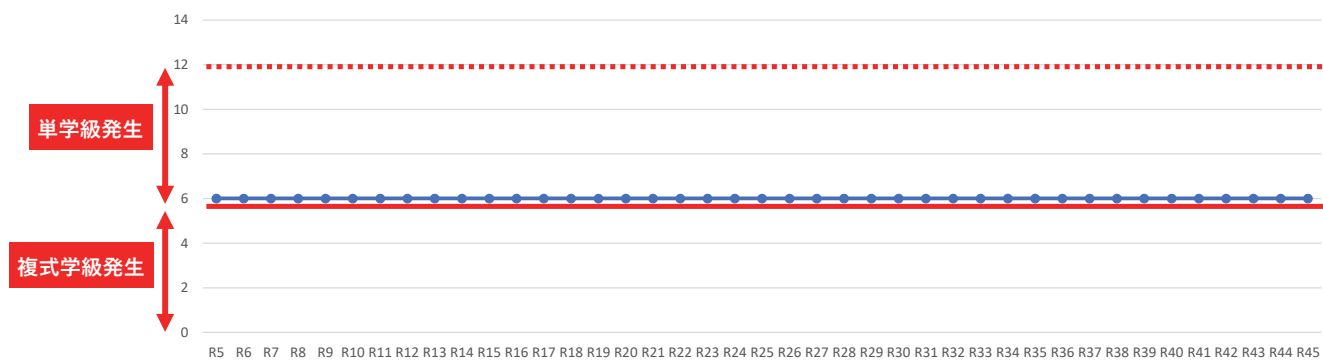


図 3-8 立教小学校の学級数

出典：桑名市

児童数は緩やかに減少傾向であり、学級数については複式学級の発生はないものの、常に単学級が発生すると想定されます。

4) 城東小学校

城東小学校の児童数及び学級数の推移を以下に示します。

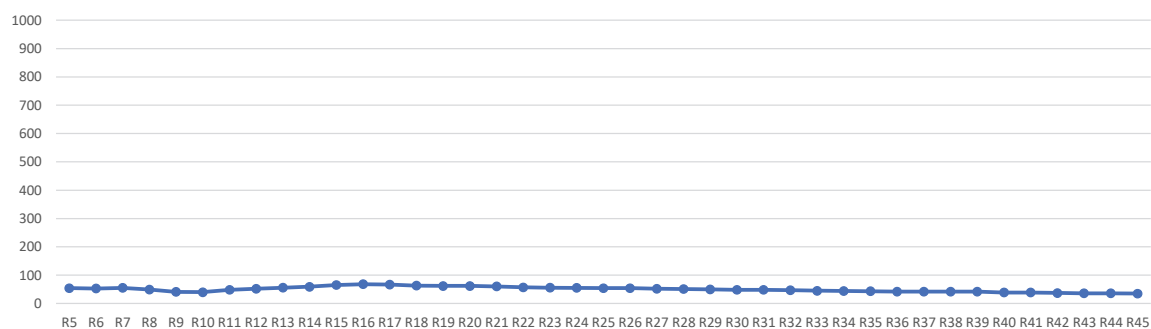


図 3-9 城東小学校の児童数

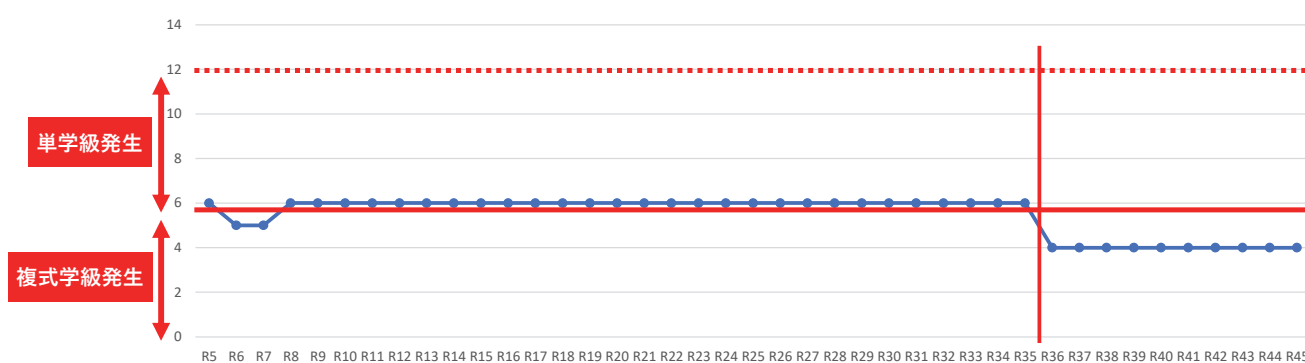


図 3-10 城東小学校の学級数

出典：桑名市

児童数はほとんど変化しませんが、学級数については令和 35 年まで常に単学級が発生し、令和 36 年以降は複式学級が発生すると想定されます。

5) 益世小学校

益世小学校の児童数及び学級数の推移を以下に示します。

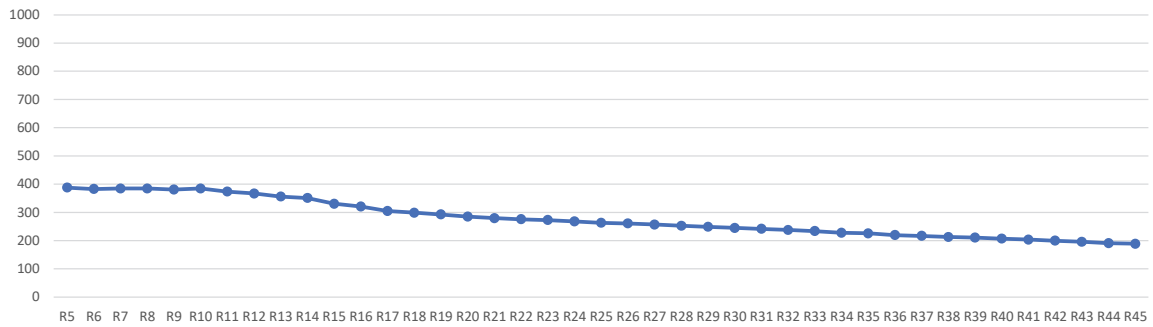


図 3-11 益世小学校の児童数

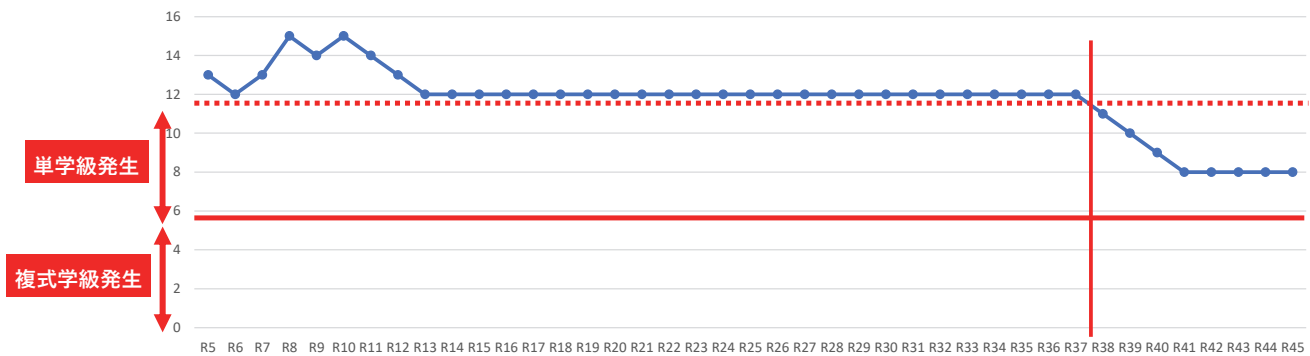


図 3-12 益世小学校の学級数

出典：桑名市

児童数は緩やかに減少傾向であり、令和 45 年には約半数の 200 人まで減少すると想定されます。学級数については令和 38 年以降に単学級が発生すると想定されます。

6) 修徳小学校

修徳小学校の児童数及び学級数の推移を以下に示します。

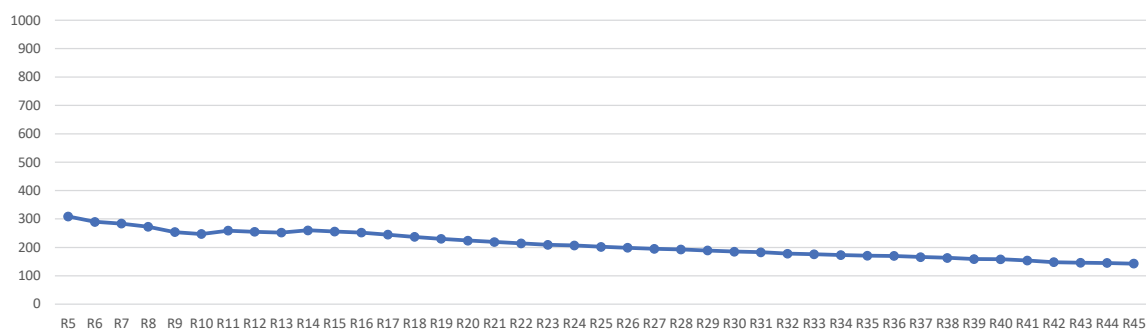


図 3-13 修徳小学校の児童数

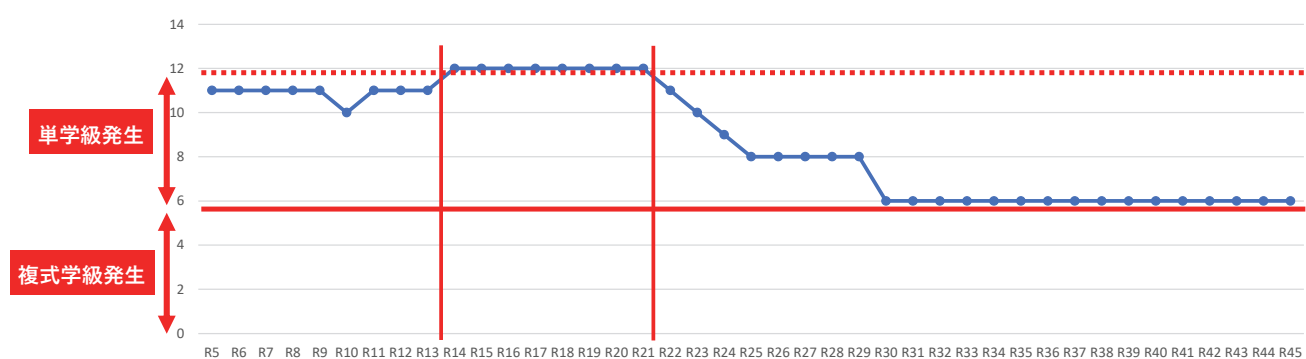


図 3-14 修徳小学校の学級数

出典：桑名市

児童数は緩やかに減少傾向であり、令和 45 年には約半数の 143 人まで減少すると想定されます。学級数については複式学級の発生はないものの、令和 22 年以降は単学級が発生すると想定されます。

7) 大成小学校

大成小学校の児童数及び学級数の推移を以下に示します。

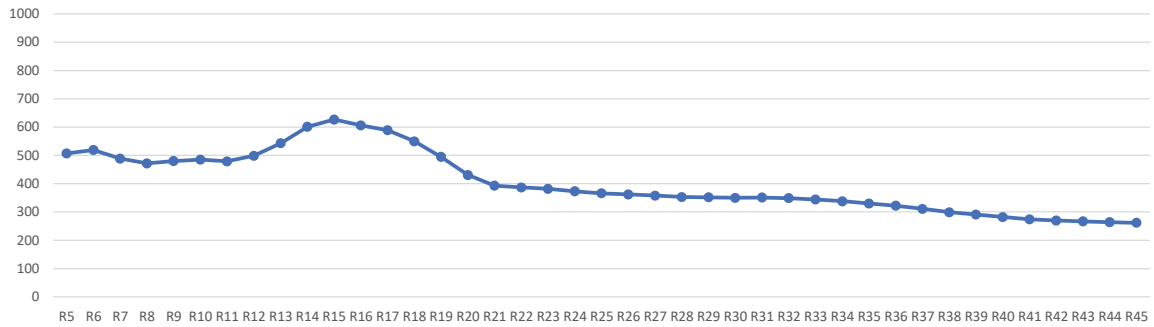


図 3-15 大成小学校の児童数

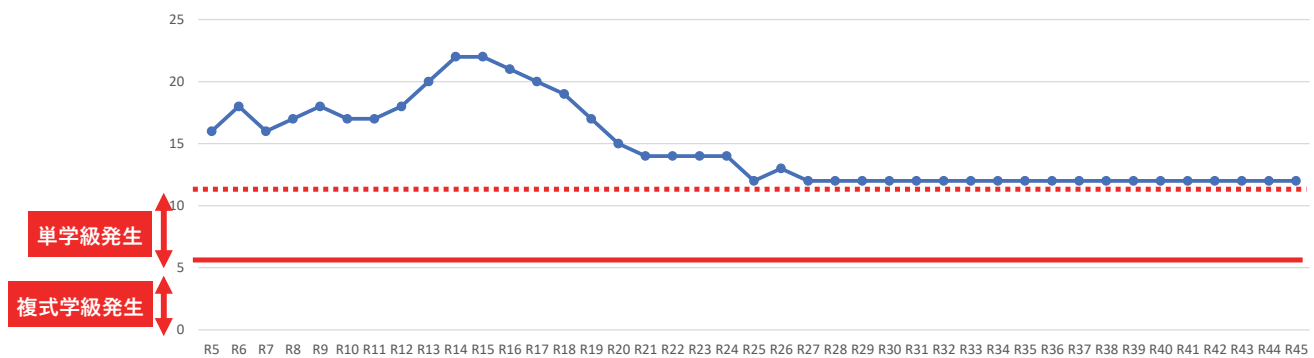


図 3-16 大成小学校の学級数

出典：桑名市

児童数は令和 15 年まで増加傾向にあるものの、その後減少傾向であり、令和 45 年には 262 人まで減少すると想定されます。学級数については児童数の減少に合わせて減少しますが、単学級の発生はないと想定されます。

8) 桑部小学校

桑部小学校の児童数及び学級数の推移を以下に示します。

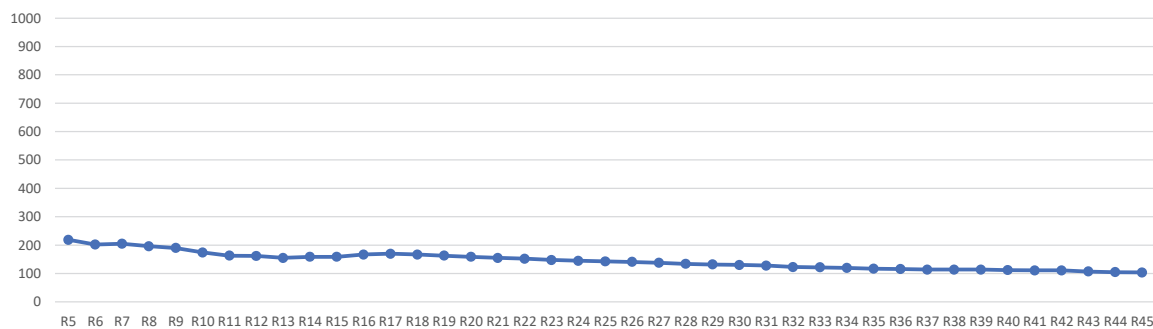


図 3-17 桑部小学校の児童数

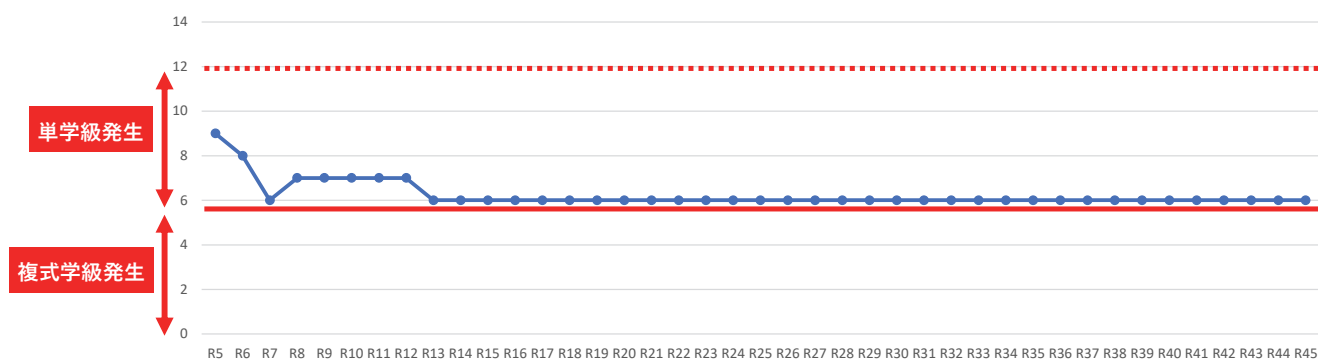


図 3-18 桑部小学校の学級数

出典：桑名市

児童数は緩やかに減少傾向であり、学級数については複式学級の発生はないものの、常に単学級が発生すると想定されます。

9) 在良小学校

在良小学校の児童数及び学級数の推移を以下に示します。

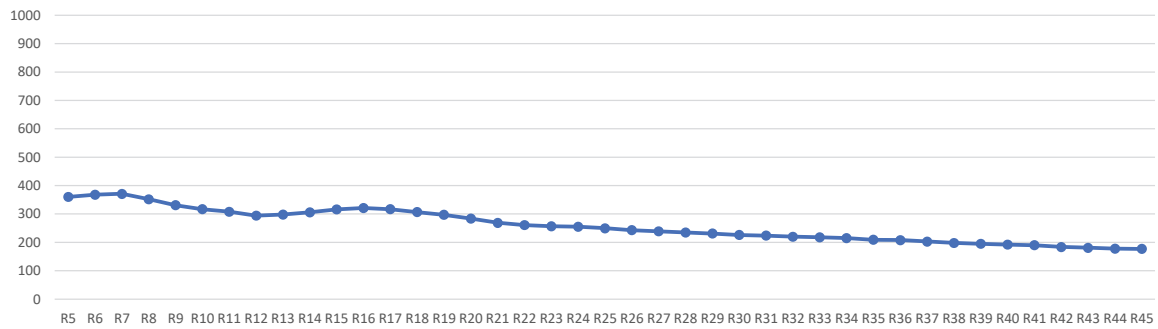


図 3-19 在良小学校の児童数

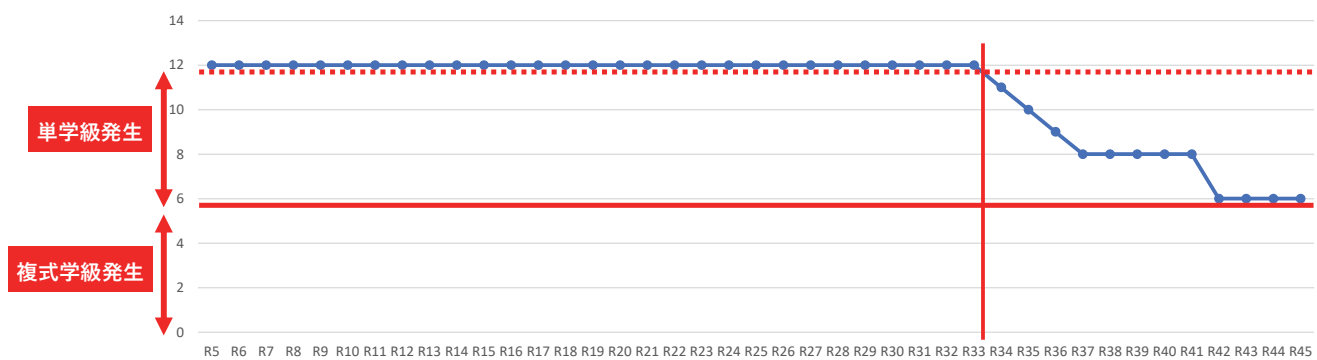


図 3-20 在良小学校の学級数

出典：桑名市

児童数は緩やかに減少であり、令和 45 年には 177 人まで減少すると想定されます。学級数については複式学級の発生はないものの、令和 34 年以降は単学級が発生すると想定されます。

10) 七和小学校

七和小学校の児童数及び学級数の推移を以下に示します。

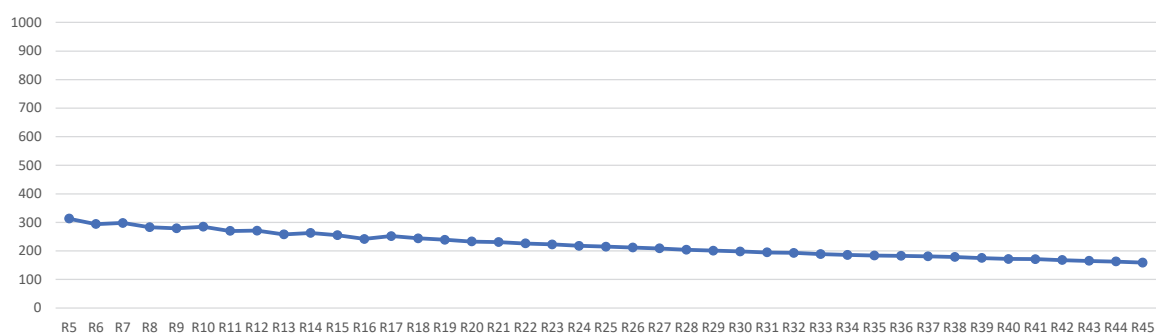


図 3-21 七和小学校の児童数

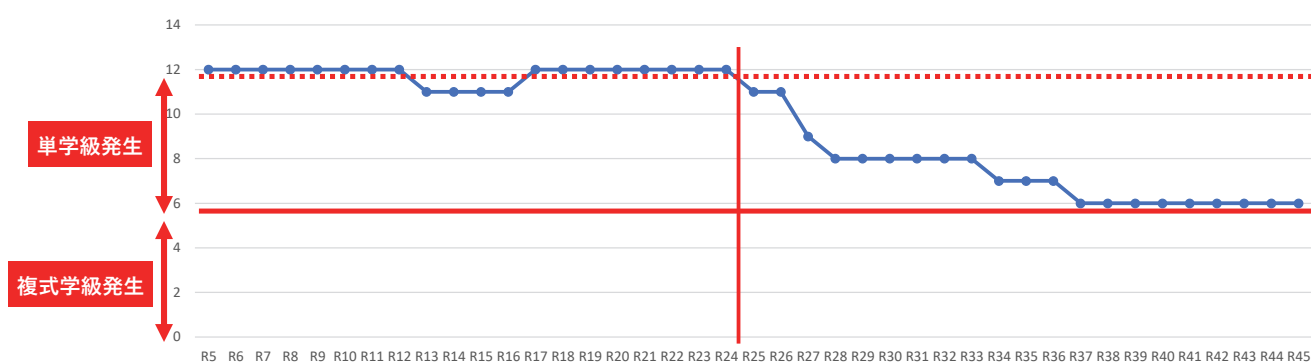


図 3-22 七和小学校の学級数

出典：桑名市

児童数は緩やかに減少であり、令和 45 年には 159 人まで減少すると想定されます。学級数については複式学級の発生はないものの、令和 25 年以降は単学級が発生すると想定されます。

11) 久米小学校

久米小学校の児童数及び学級数の推移を以下に示します。

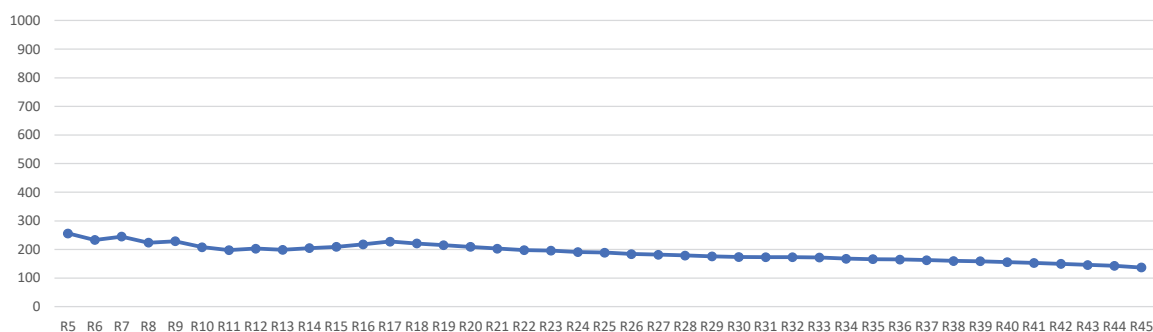


図 3-23 久米小学校の児童数

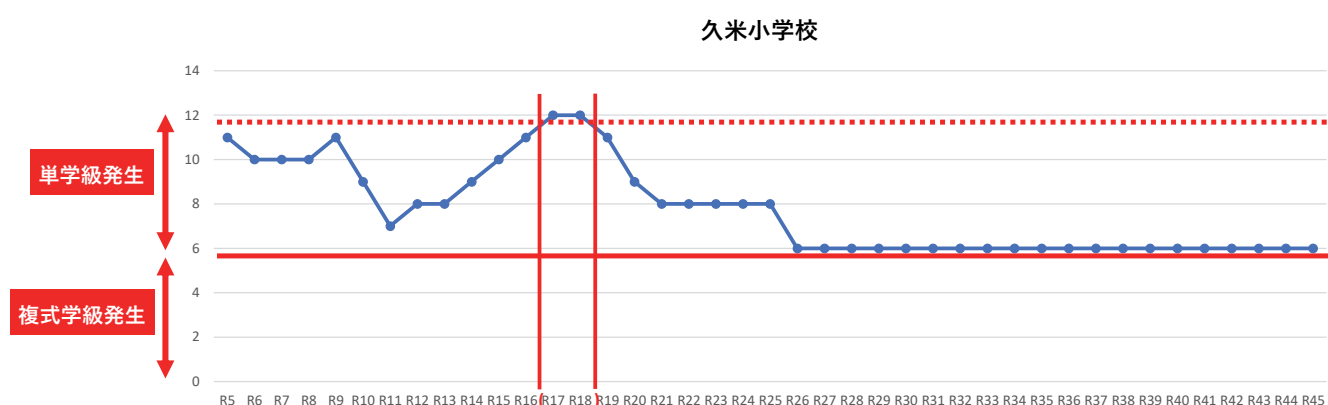


図 3-24 久米小学校の学級数

出典：桑名市

児童数は令和 17 年まではほとんど変化しませんが、その後緩やかに減少傾向と想定されます。学級数については複式学級の発生はないものの、令和 17 年～18 年以外については常に単学級が発生すると想定されます。

12) 深谷小学校

深谷小学校の児童数及び学級数の推移を以下に示します。

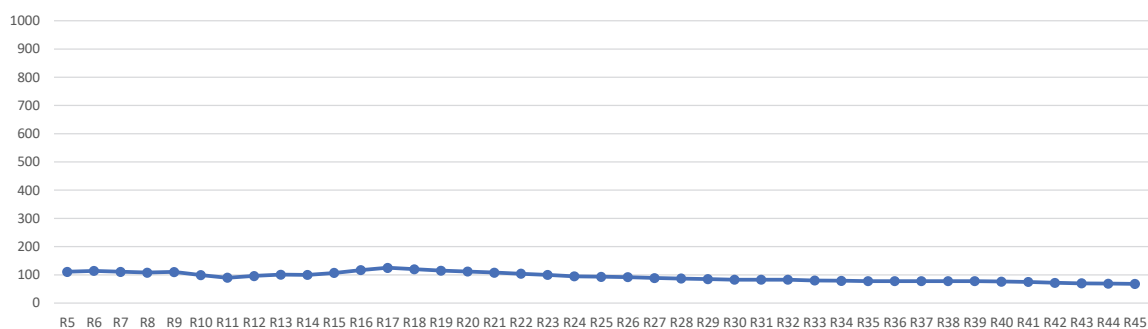


図 3-25 深谷小学校の児童数

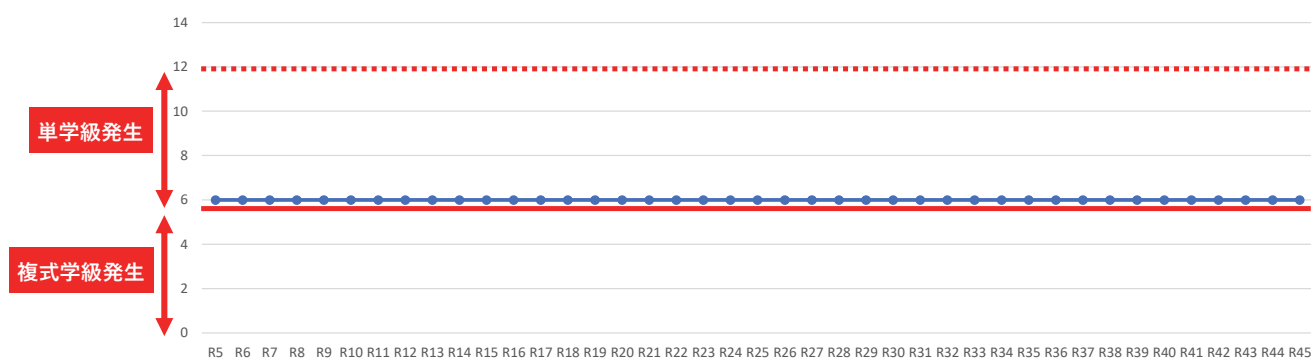


図 3-26 深谷小学校の学級数

出典：桑名市

児童数は緩やかに減少傾向であり、学級数については複式学級の発生はないものの、常に単学級が発生すると想定されます。

13) 城南小学校

城南小学校の児童数及び学級数の推移を以下に示します。

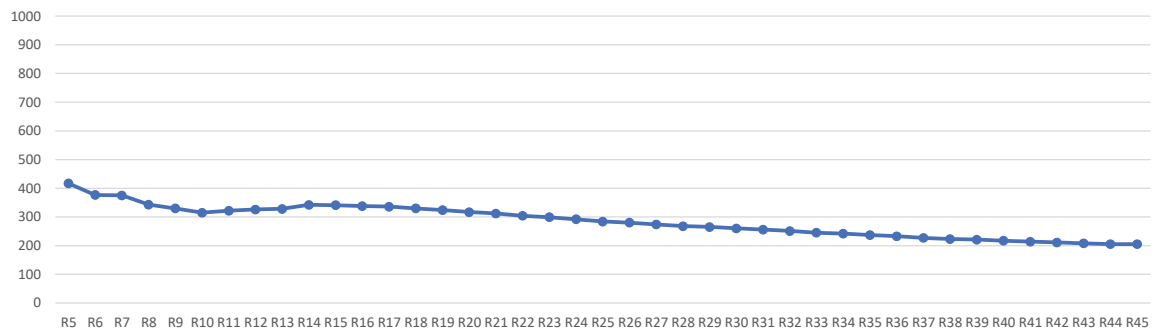


図 3-27 城南小学校の児童数

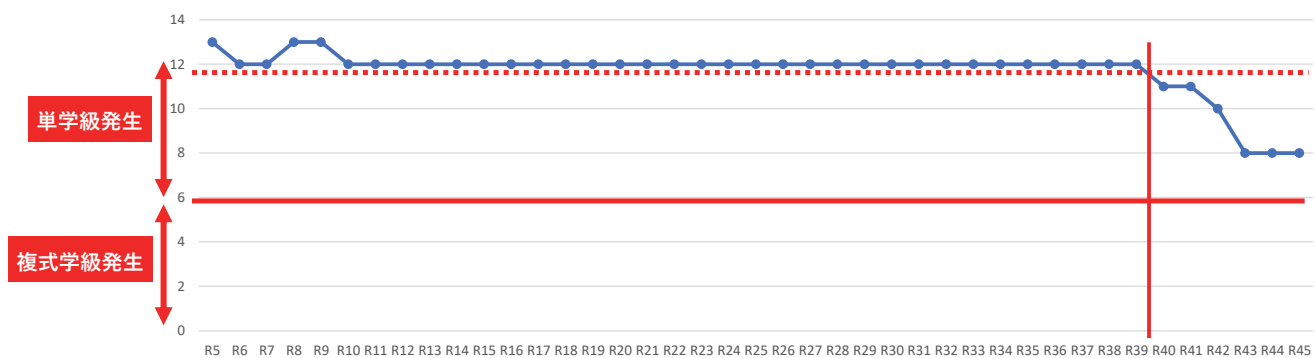


図 3-28 城南小学校の学級数

出典：桑名市

児童数は緩やかに減少傾向であり、令和 45 年には約半数の 205 人まで減少すると想定されます。学級数については複式学級の発生はないものの、令和 40 年以降に単学級が発生すると想定されます。

14) 大和小学校

大和小学校の児童数及び学級数の推移を以下に示します。

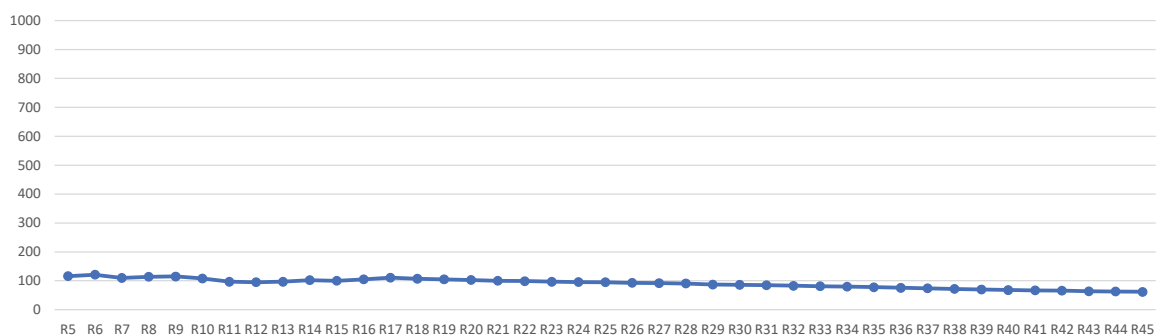


図 3-29 大和小学校の児童数

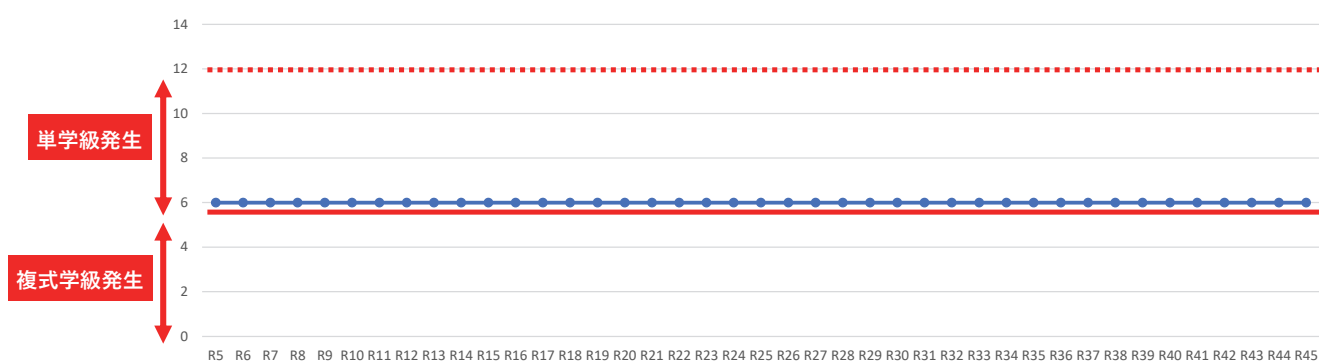


図 3-30 大和小学校の学級数

出典：桑名市

児童数は緩やかに減少傾向であり、学級数については複式学級の発生はないものの、常に単学級が発生すると想定されます。

15) 大山田東小学校

大山田東小学校の児童数及び学級数の推移を以下に示します。

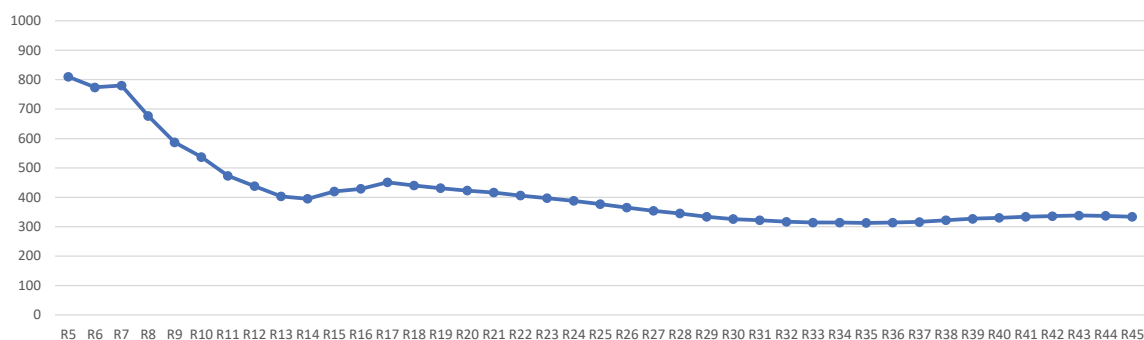


図 3-31 大山田東小学校の児童数

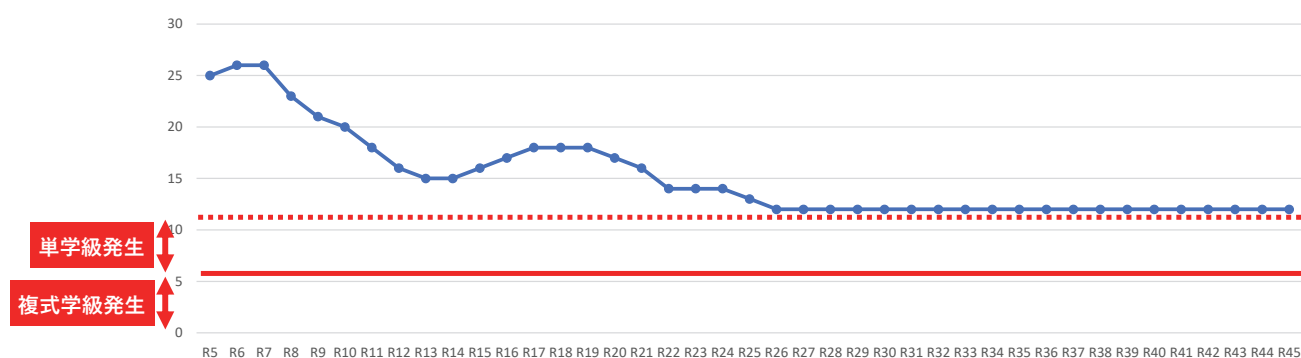


図 3-32 大山田東小学校の学級数

出典：桑名市

児童数は令和 13 年にかけて急激に減少することが想定され、その後緩やかに減少傾向であり、令和 45 年には半数以下の 334 人まで減少すると想定されます。学級数については単学級の発生はないと想定されます。

16) 大山田北小学校

大山田北小学校の児童数及び学級数の推移を以下に示します。

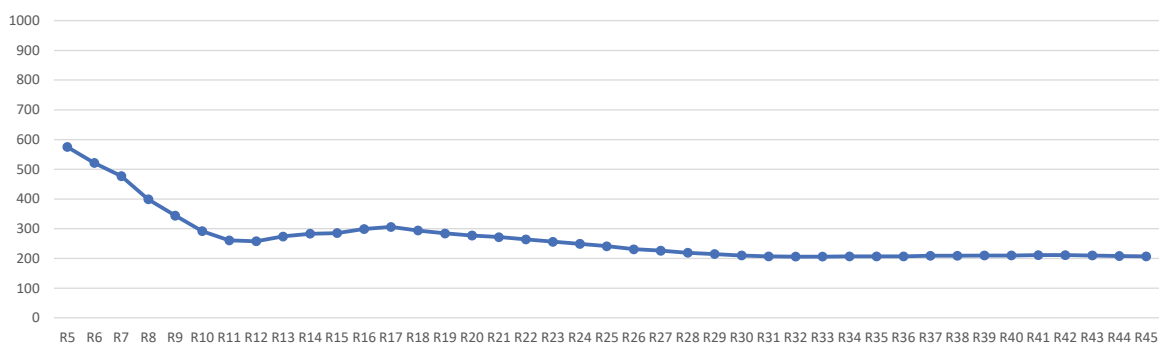


図 3-33 大山田北小学校の児童数

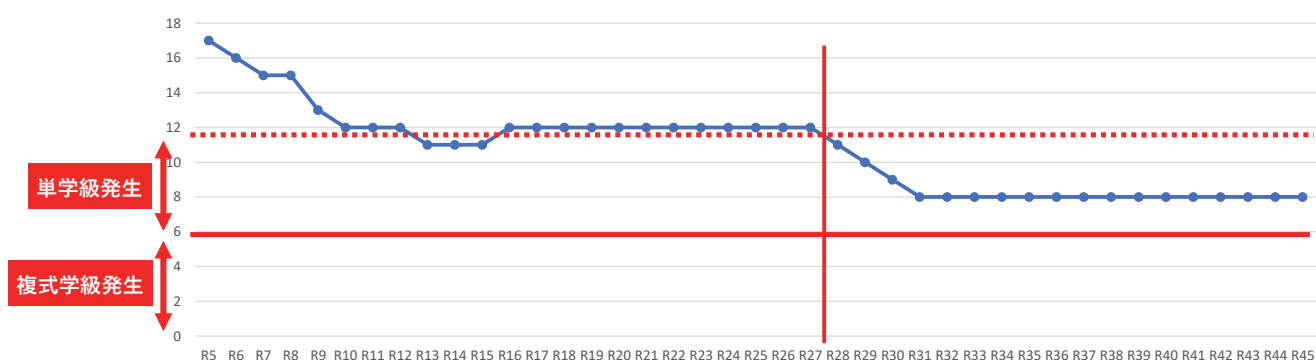


図 3-34 大山田北小学校の学級数

出典：桑名市

児童数については令和 11 年まで急激に減少しますが、その後令和 17 年まで増加傾向となり、その後緩やかに減少傾向と想定されます。学級数については複式学級の発生はないものの、令和 28 年から単学級が発生すると想定されます。

17) 大山田西小学校

大山田西小学校の児童数及び学級数の推移を以下に示します。

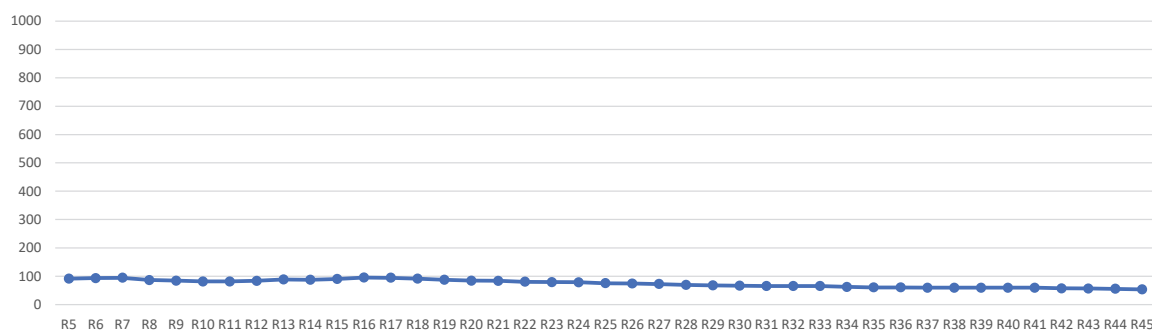


図 3-35 大山田西小学校の児童数

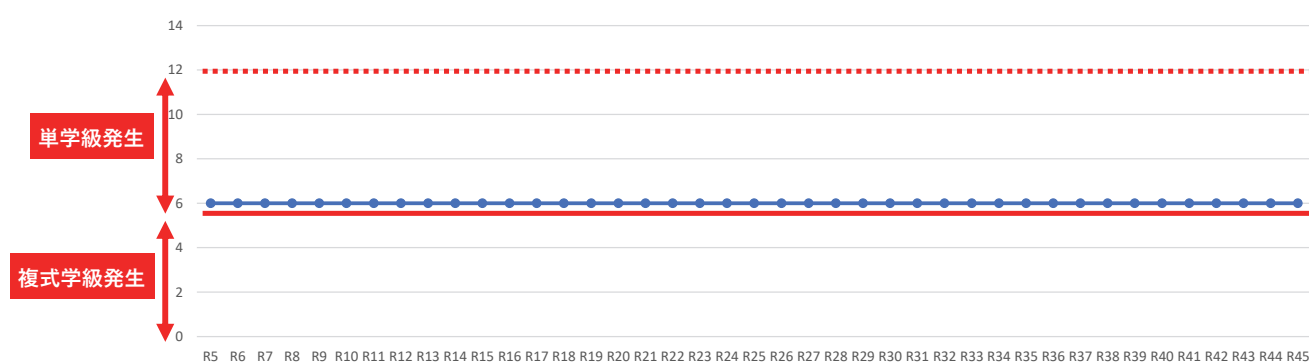


図 3-36 大山田西小学校の学級数

出典：桑名市

児童数は緩やかに減少傾向であり、学級数については複式学級の発生はないものの、常に単学級が発生すると想定されます。

18) 大山田南小学校

大山田南小学校の児童数及び学級数の推移を以下に示します。

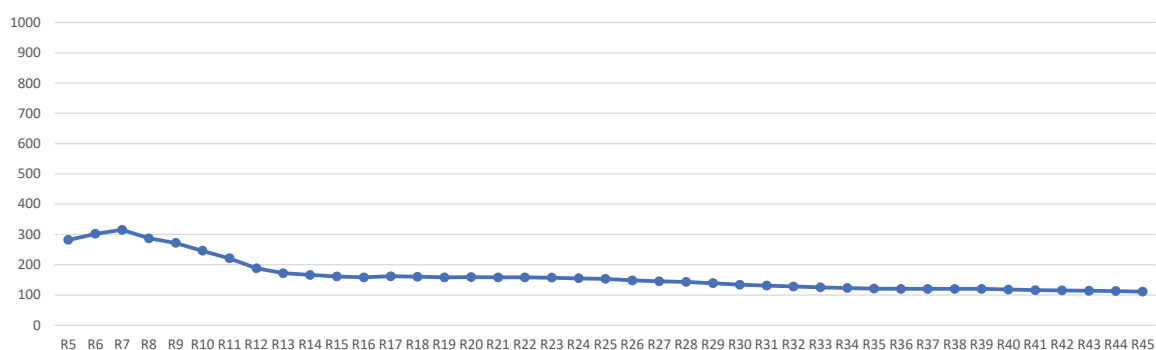


図 3-37 大山田南小学校の児童数

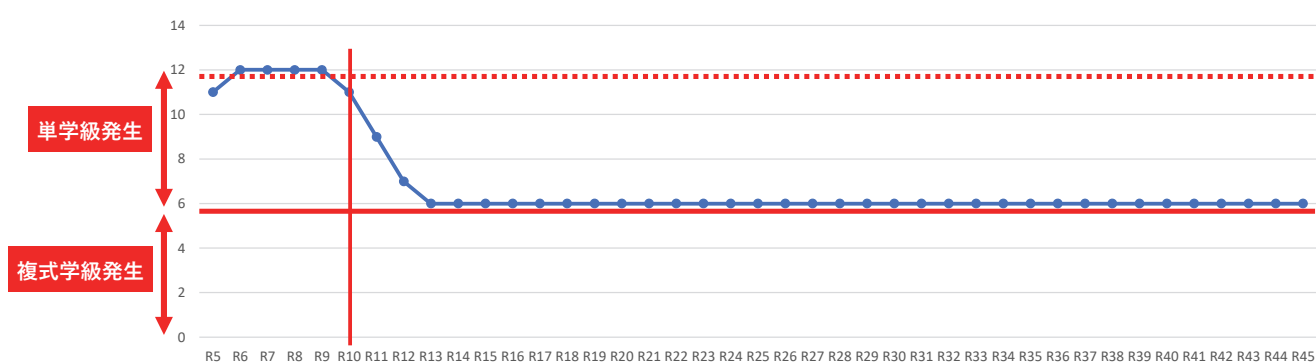


図 3-38 大山田南小学校の学級数

出典：桑名市

児童数は令和 12 年まで減少傾向であり、その後も緩やかに減少傾向です。学級数については複式学級の発生はないものの、令和 10 年以降は単学級が発生すると想定されます。

19) 藤が丘小学校

藤が丘小学校の児童数及び学級数の推移を以下に示します。

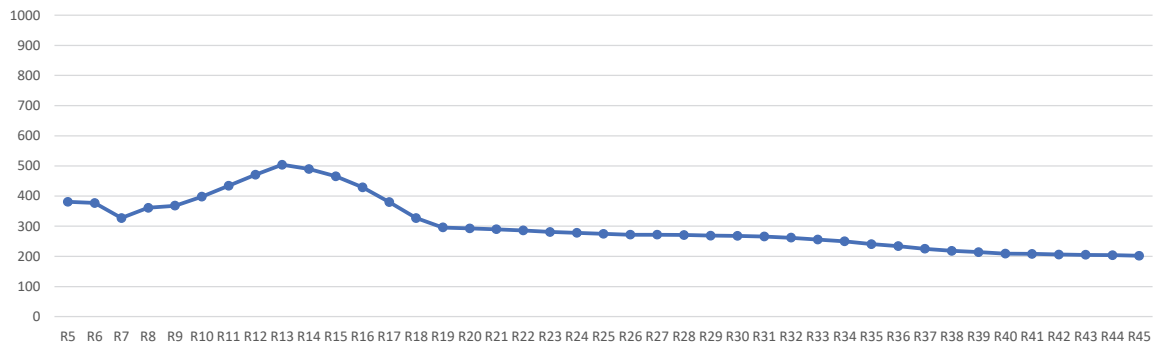


図 3-39 藤が丘小学校の児童数

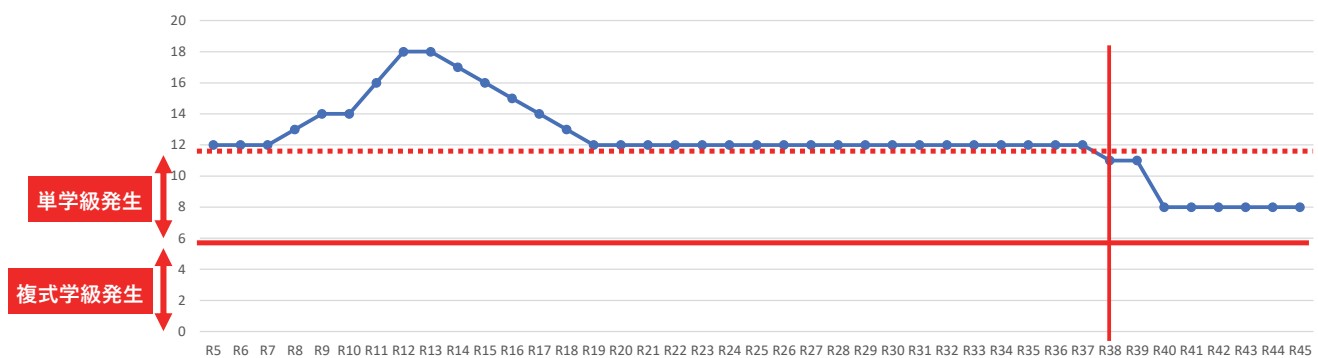


図 3-40 藤が丘小学校の学級数

出典：桑名市

児童数は令和 13 年まで増加傾向であるものの、その後減少傾向となり、令和 45 年には約半数の 202 人まで減少すると想定されます。学級数については複式学級の発生はないものの、令和 38 年以降は単学級が発生すると想定されます。

20) 星見ヶ丘小学校

星見ヶ丘小学校の児童数及び学級数の推移を以下に示します。

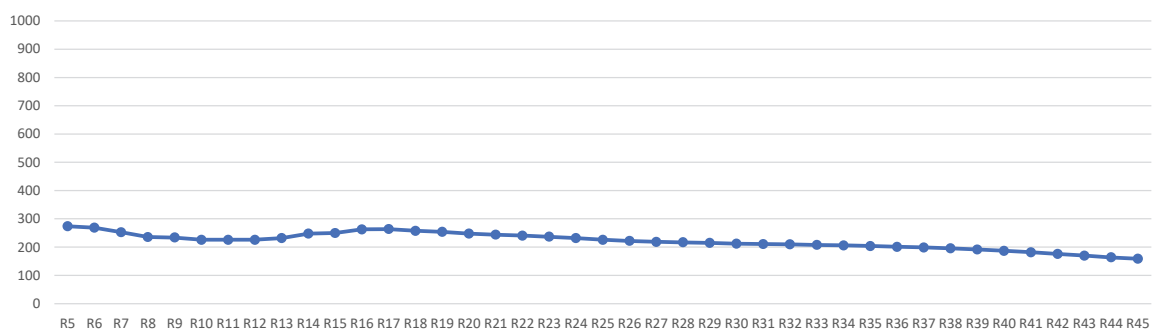


図 3-41 星見ヶ丘小学校の児童数

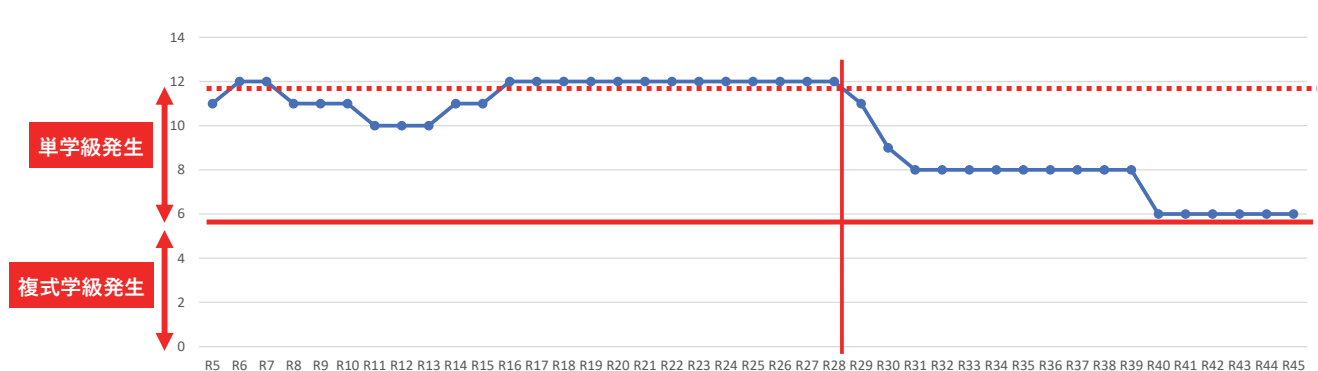


図 3-42 星見ヶ丘小学校の学級数

出典：桑名市

児童数は令和 17 年以降は緩やかに減少傾向と想定されます。学級数については複式学級の発生はないものの、令和 29 年以降は単学級が発生すると想定されます。

21) 長島北部小学校

長島北部小学校の児童数及び学級数の推移を以下に示します。

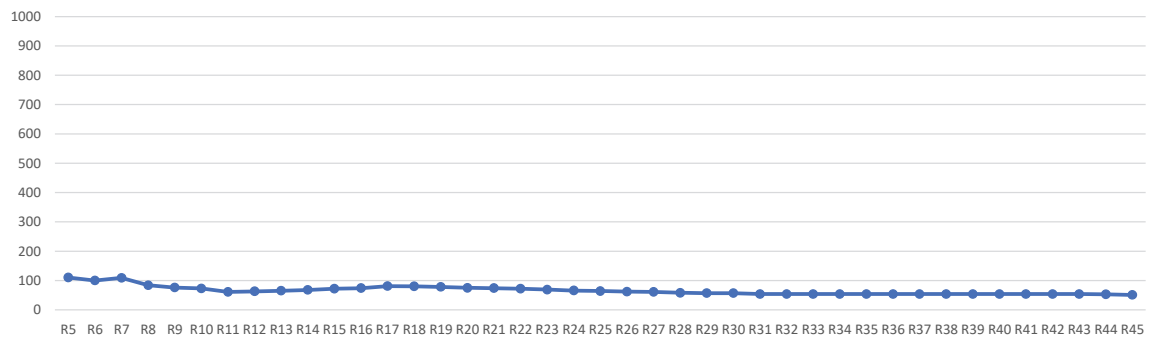


図 3-43 長島北部小学校の児童数

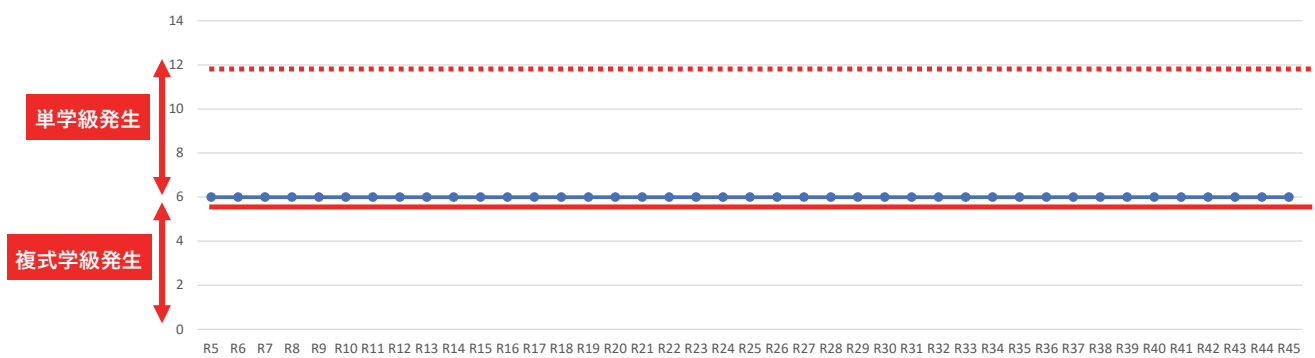


図 3-44 長島北部小学校の学級数

出典：桑名市

児童数は緩やかに減少傾向であり、学級数については複式学級の発生はないものの、常に単学級が発生すると想定されます。

22) 長島中部小学校

長島中部小学校の児童数及び学級数の推移を以下に示します。

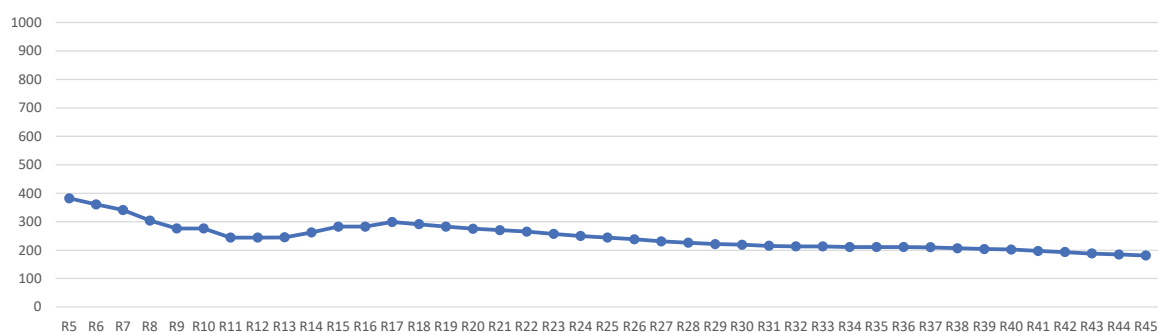


図 3-45 長島中部小学校の児童数

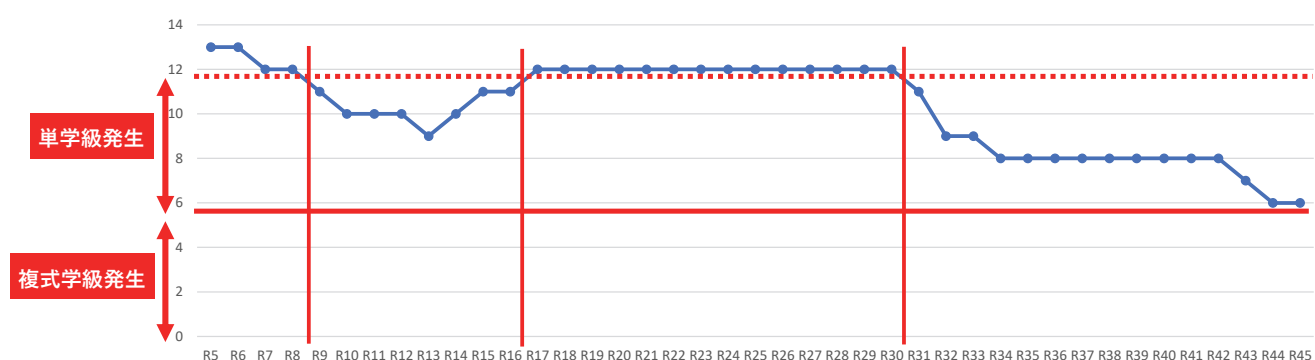


図 3-46 長島中部小学校の学級数

出典：桑名市

児童数は緩やかに減少傾向であり、令和 45 年には約半数の 181 人まで減少すると想定されます。学級数については複式学級の発生はないものの、令和 9 年～令和 16 年及び令和 31 年以降は単学級が発生すると想定されます。

23) 伊曽島小学校

伊曽島小学校の児童数及び学級数の推移を以下に示します。

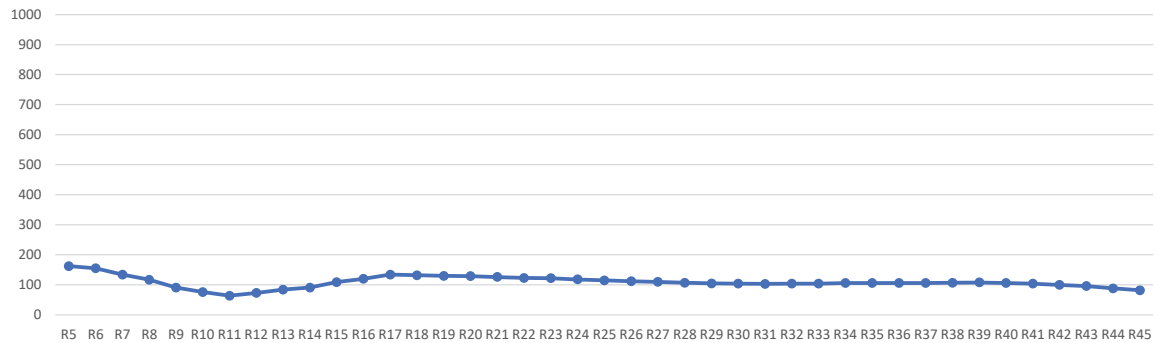


図 3-47 伊曽島小学校の児童数

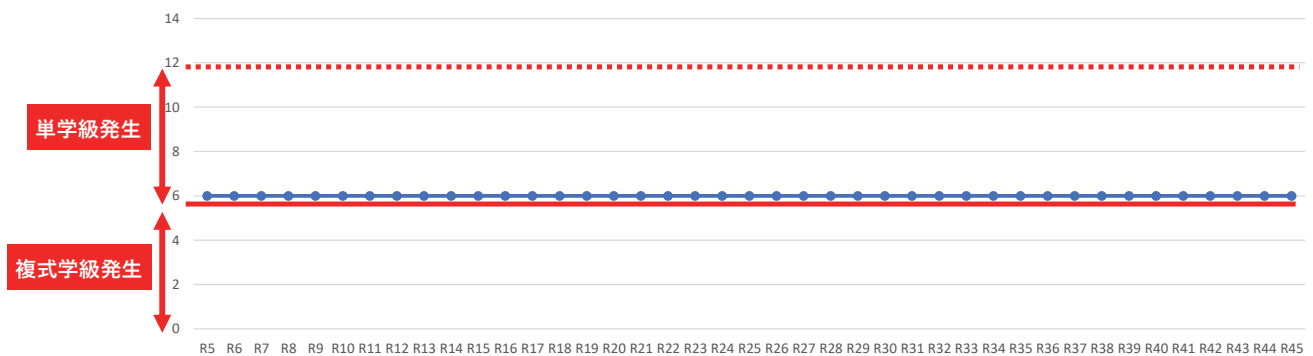


図 3-48 伊曽島小学校の学級数

出典：桑名市

児童数は緩やかに減少傾向であり、学級については複式学級の発生はないものの、常に単学級が発生すると想定されます。

3.2.2 各中学校の整理

1) 成徳中学校

成徳中学校の生徒数及び学級数の推移を以下に示します。

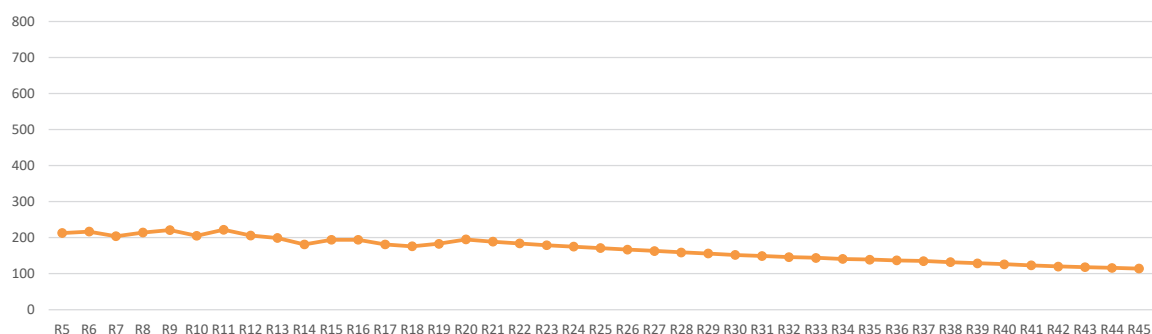


図 3-49 成徳中学校の生徒数

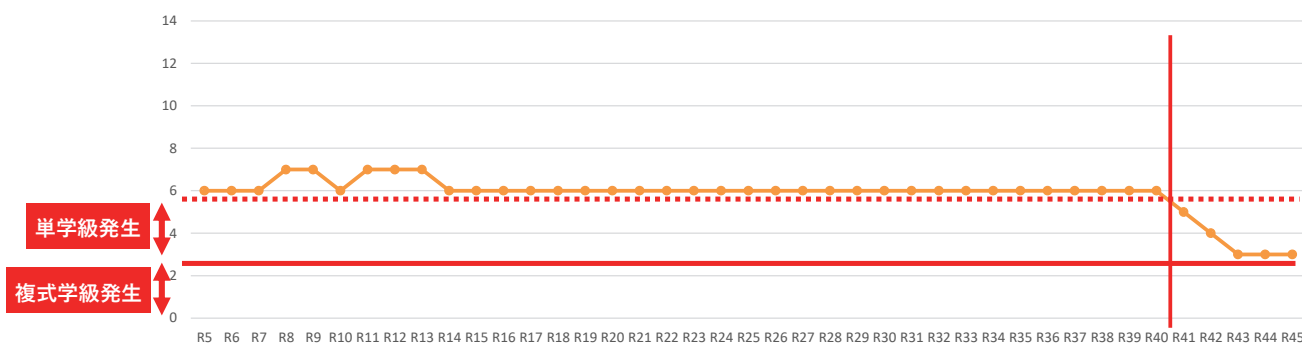


図 3-50 成徳中学校の学級数

出典：桑名市

生徒数は令和 20 年まではほとんど変化しませんが、その後減少傾向と想定されます。学級数については複式学級の発生はないものの、令和 41 年以降は単学級が発生すると想定されます。

2) 明正中学校

明正中学校の生徒数及び学級数の推移を以下に示します。

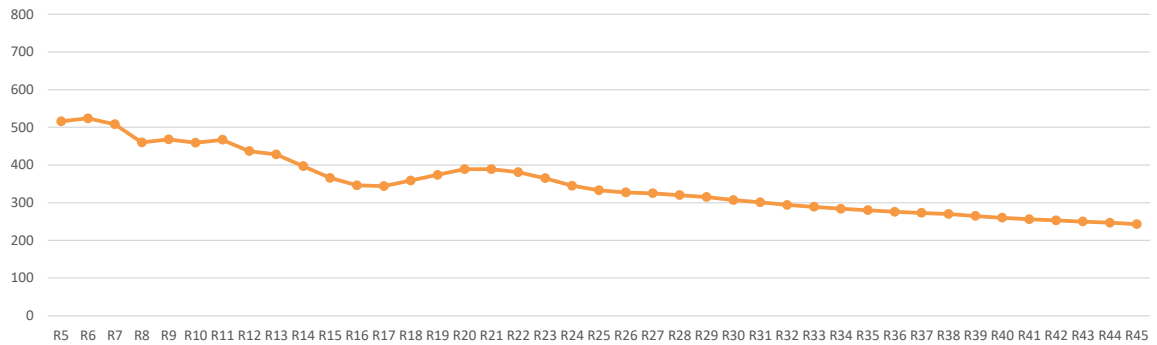


図 3-51 明正中学校の生徒数

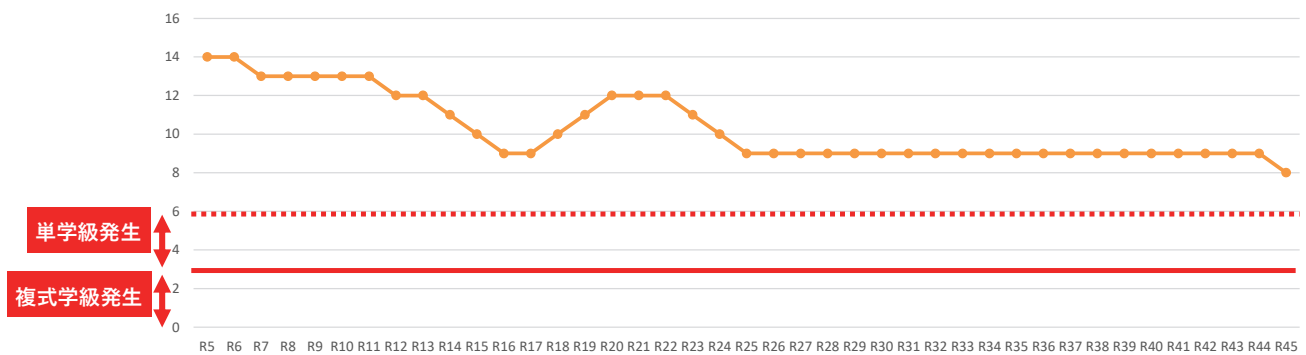


図 3-52 明正中学校の学級数

出典：桑名市

生徒数は減少傾向であり、令和 45 年には約半数の 243 人まで減少すると想定されます。学級数については単学級の発生はないと想定されます。

3) 光風中学校

光風中学校の生徒数及び学級数の推移を以下に示します。

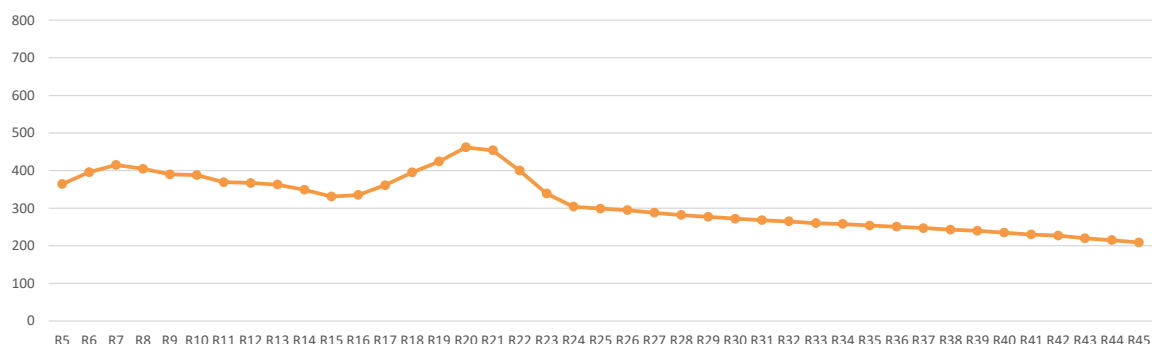


図 3-53 光風中学校の生徒数

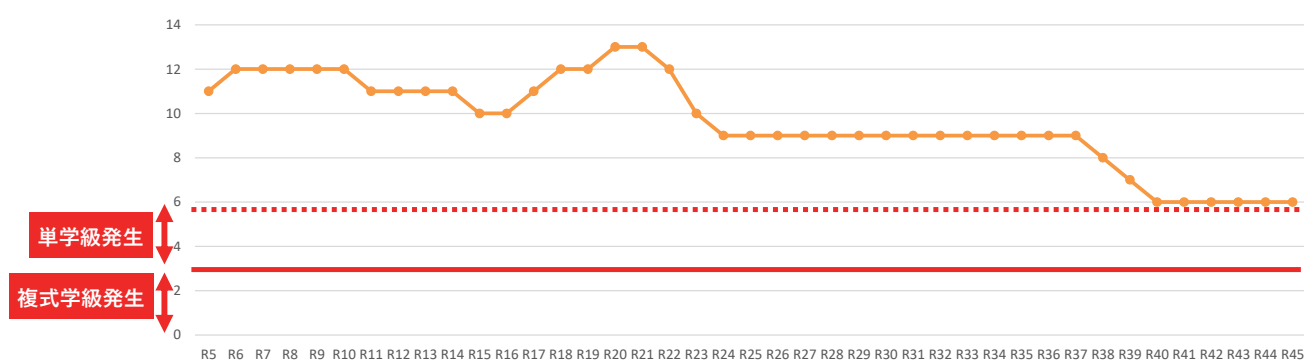


図 3-54 光風中学校の学級数

出典：桑名市

生徒数は令和 20 年まで増加傾向であるものの、その後減少傾向に転じ令和 45 年には約半数の 209 人まで減少すると想定されます。学級数については単学級の発生はないと想定されます。

4) 陽和中学校

陽和中学校の生徒数及び学級数の推移を以下に示します。

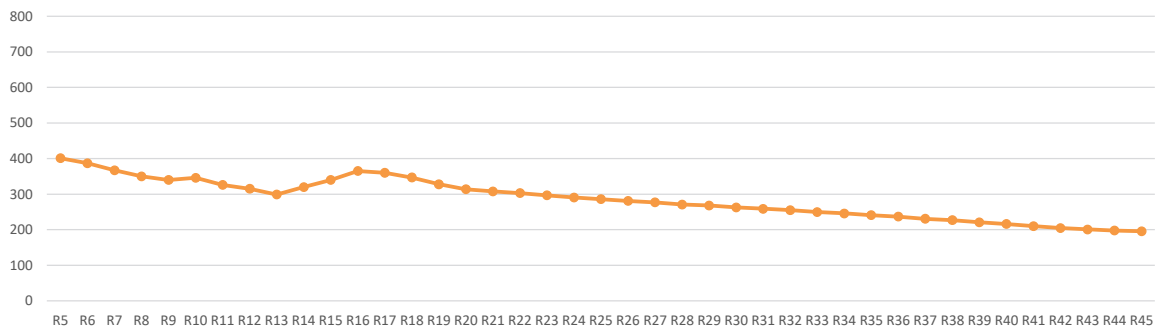


図 3-55 陽和中学校の生徒数

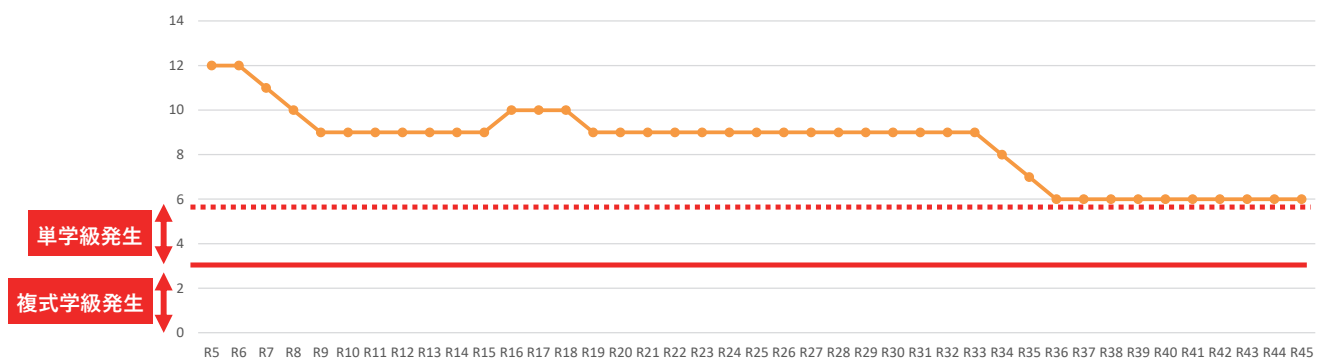


図 3-56 陽和中学校の学級数

出典：桑名市

生徒数は緩やかに減少傾向であり、令和 45 年には約半数の 196 人まで減少すると想定されます。学級数については単学級の発生はないと想定されます。

5) 正和中学校

正和中学校の生徒数及び学級数の推移を以下に示します。

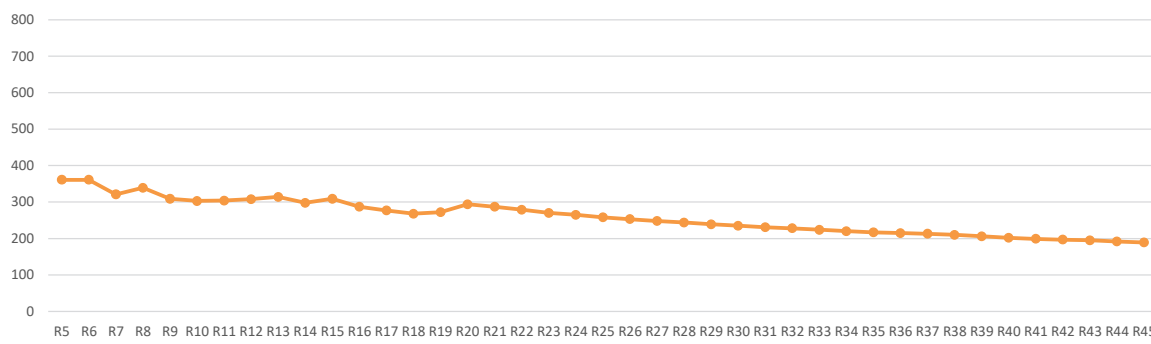


図 3-57 正和中学校の生徒数

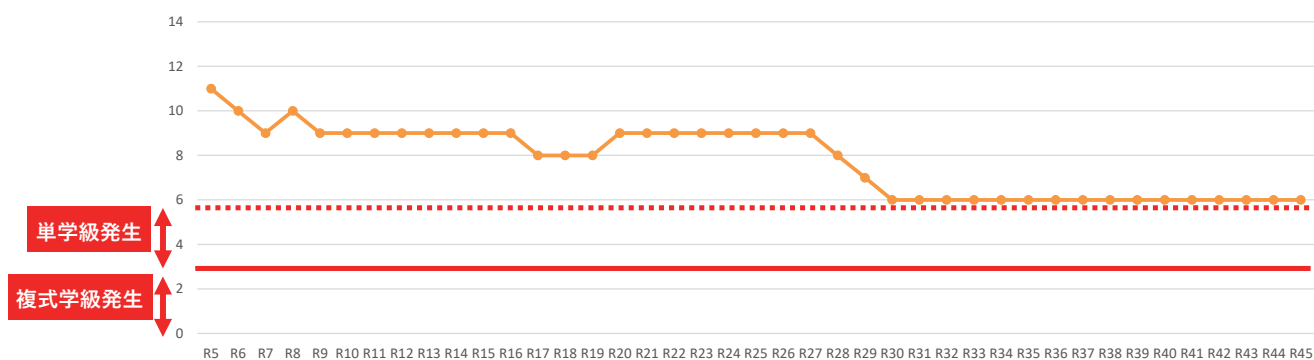


図 3-58 正和中学校の学級数

出典：桑名市

生徒数は緩やかに減少傾向であり、学級数については単学級の発生はないと想定されます。

6) 陵成中学校

陵成中学校の生徒数及び学級数の推移を以下に示します。

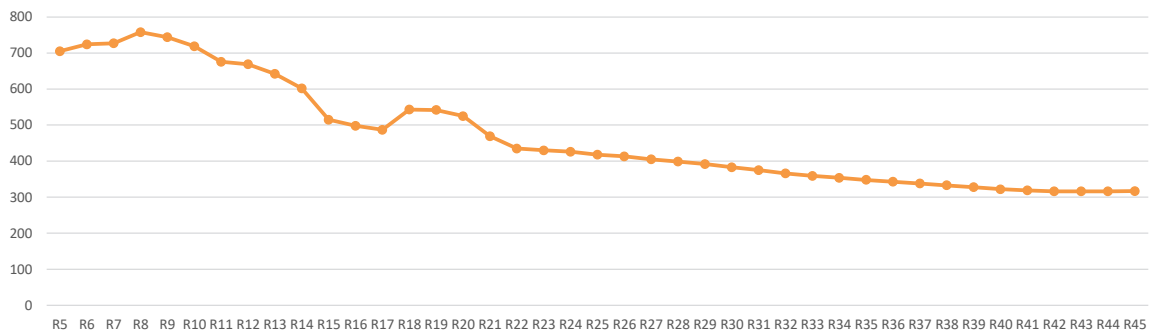


図 3-59 陵成中学校の生徒数

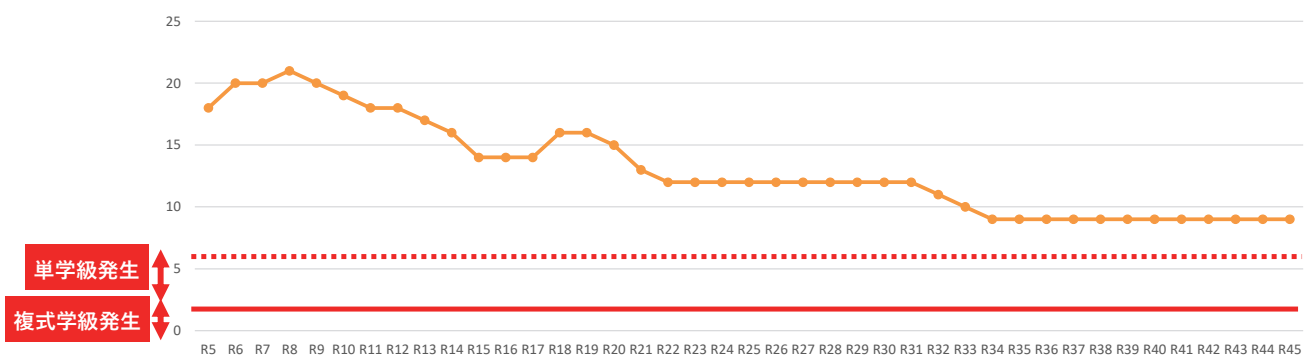


図 3-60 陵成中学校の学級数

出典：桑名市

生徒数は令和 22 年まで急激に減少し、その後緩やかに減少傾向であり、令和 45 年には半数以下の 317 人まで減少すると想定されます。学級数については単学級の発生はないと想定されます。

7) 光陵中学校

光陵中学校の生徒数及び学級数の推移を以下に示します。

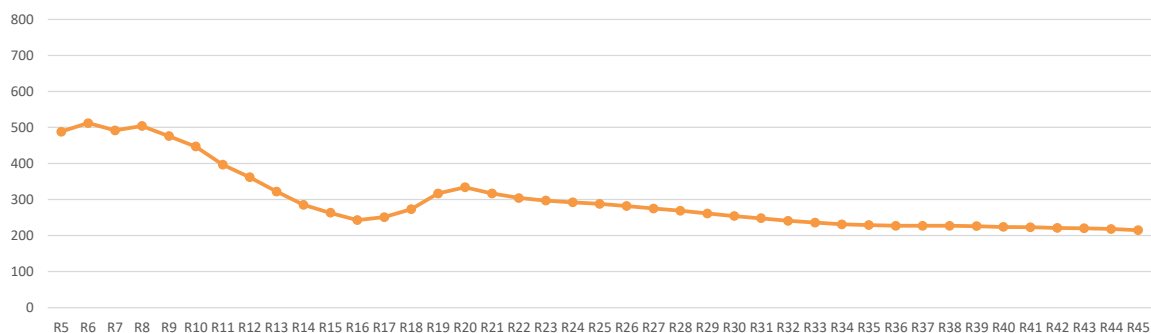


図 3-61 光陵中学校の生徒数

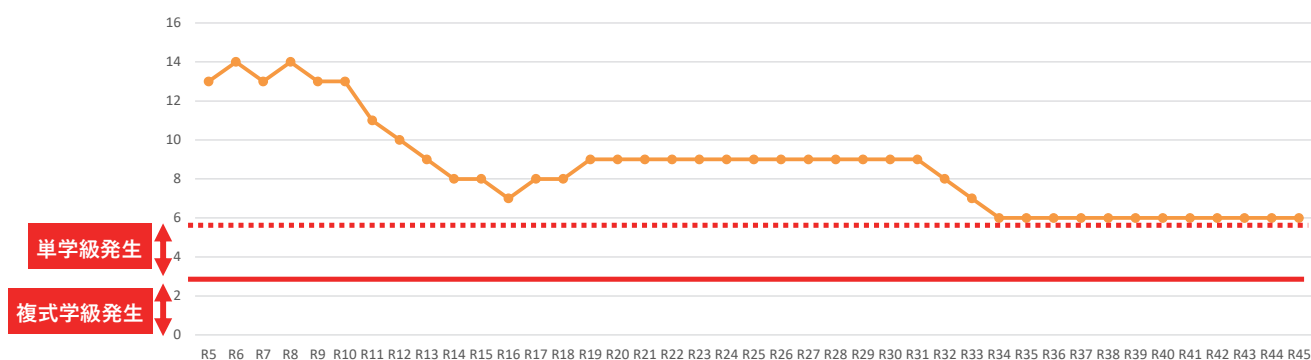


図 3-62 光陵中学校の学級数

出典：桑名市

生徒数は緩やかに減少傾向であり、学級数については単学級の発生はないと想定されます。

8) 長島中学校

長島中学校の生徒数及び学級数の推移を以下に示します。

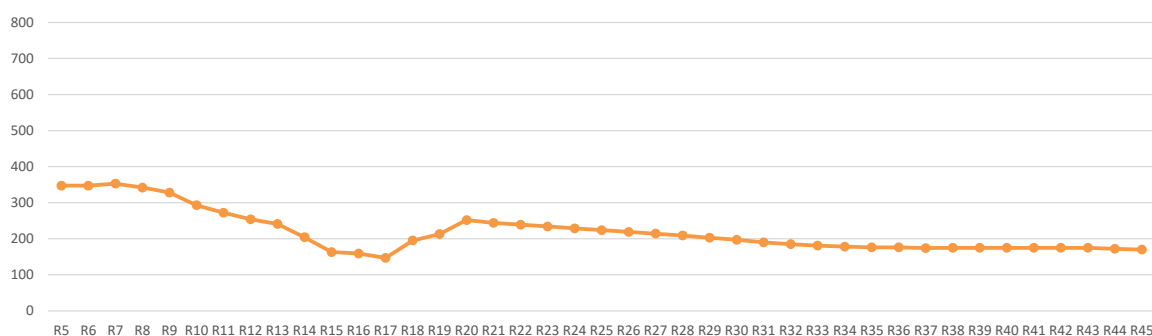


図 3-63 長島中学校の生徒数

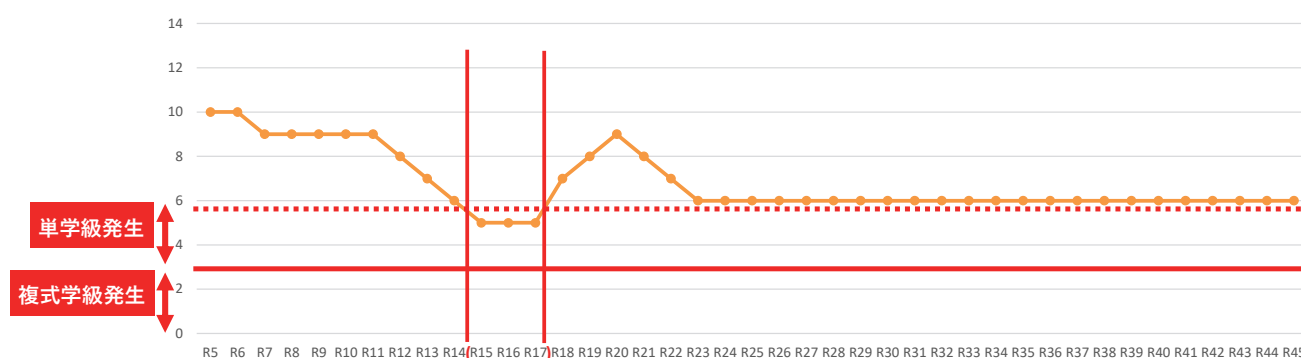


図 3-64 長島中学校の学級数

出典：桑名市

生徒数は令和 17 年に最少人数となり、その後令和 20 年まで増加傾向になるものの、その後緩やかに減少傾向と想定されます。学級数については令和 15 年～17 年まで単学級の発生が想定されますが、それ以降については生徒数の増加により単学級の発生はないと想定されます。